

キラ  
キラ

ビカル

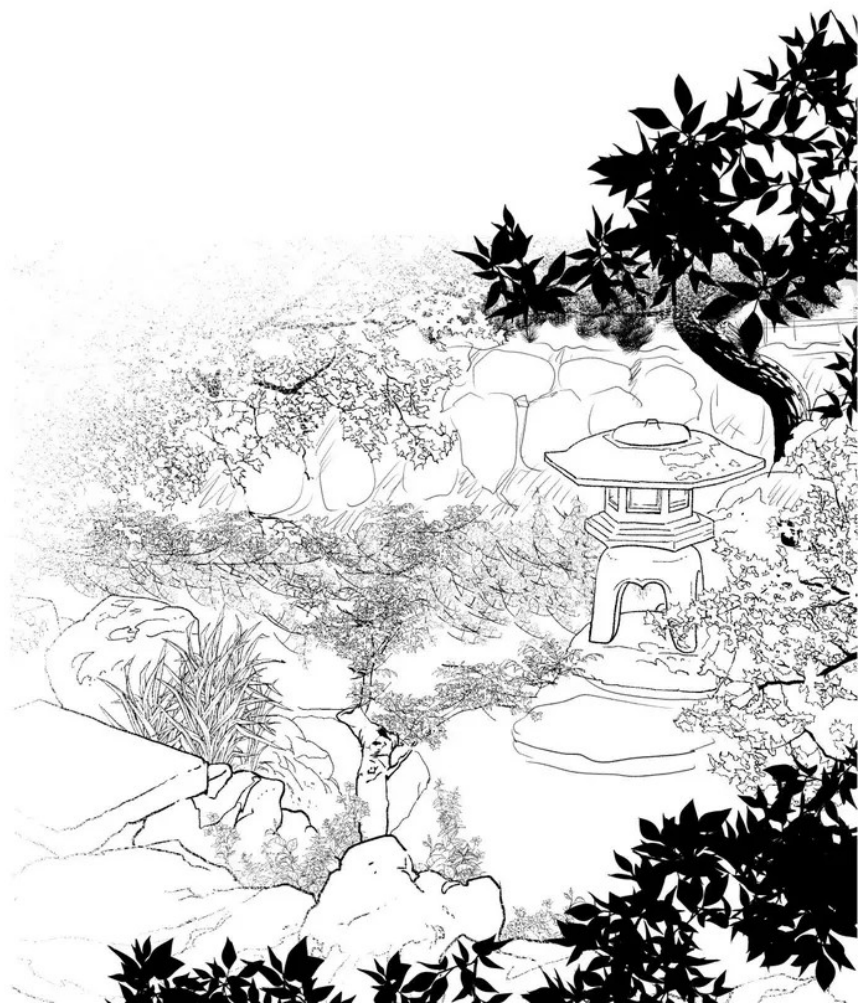
R-18

昭和養子縁組話

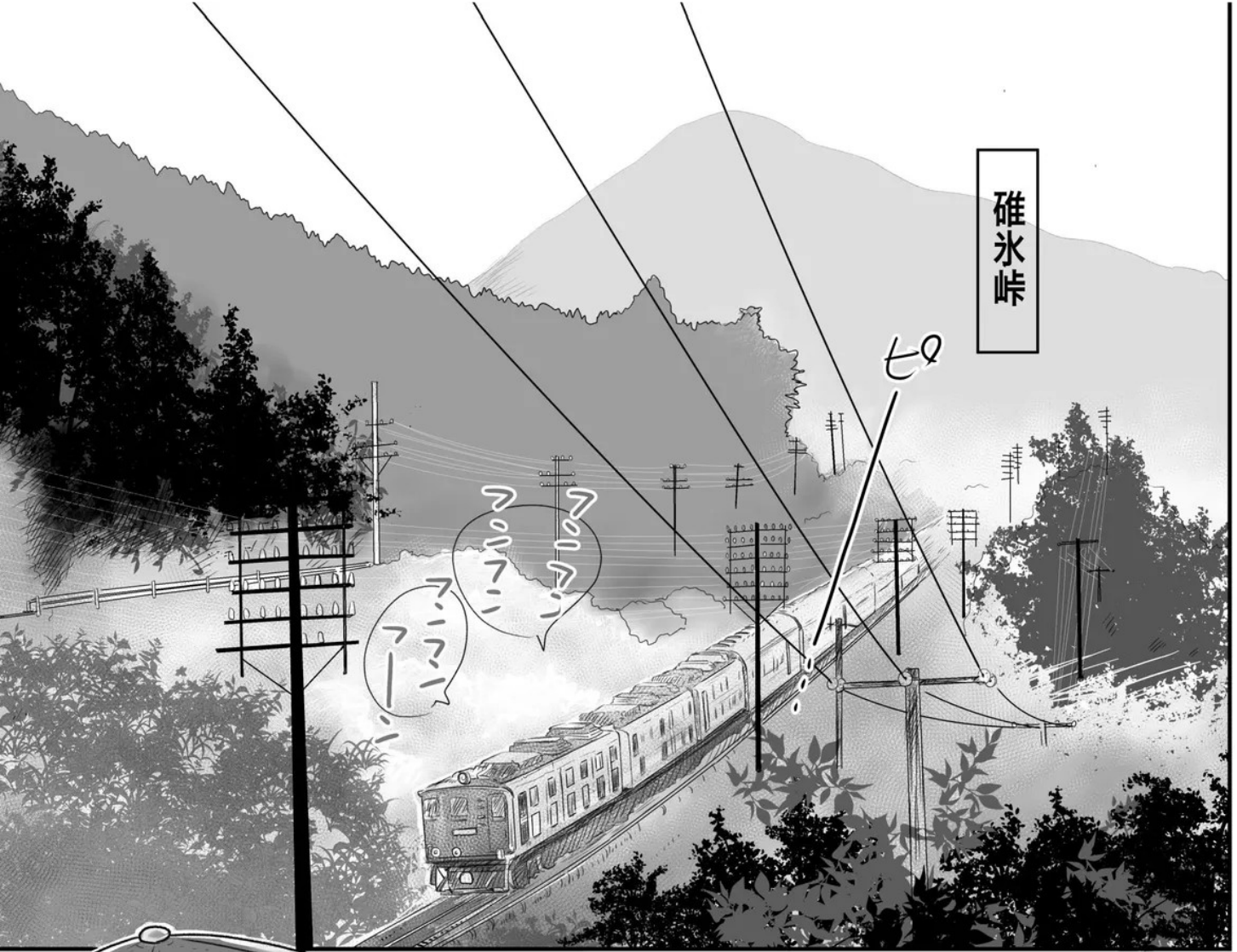
百  
齋

YANCHA CLUB / DOUSAI

昭和三十某年  
新緑の頃



碓氷峠





何言っただオメーっ  
こんな山んだぞ！  
すげーだろうが！

へー！  
それって  
すごいのか？



知ってっか？

ここは明治の世から  
この電気機関車が  
ずっと走ってるんだぜ



トンネル  
ばっか



婆さん  
頑張っ探して  
くれたんだなあ

しっかしよかつたな  
大学まで出してくるって  
養父が出てくるとかよ

いや〜



さすがに  
寒いな！

うっ



アレだ  
アレだ

おっ

迎える車が  
来てるハズ  
なんだが…

さあて

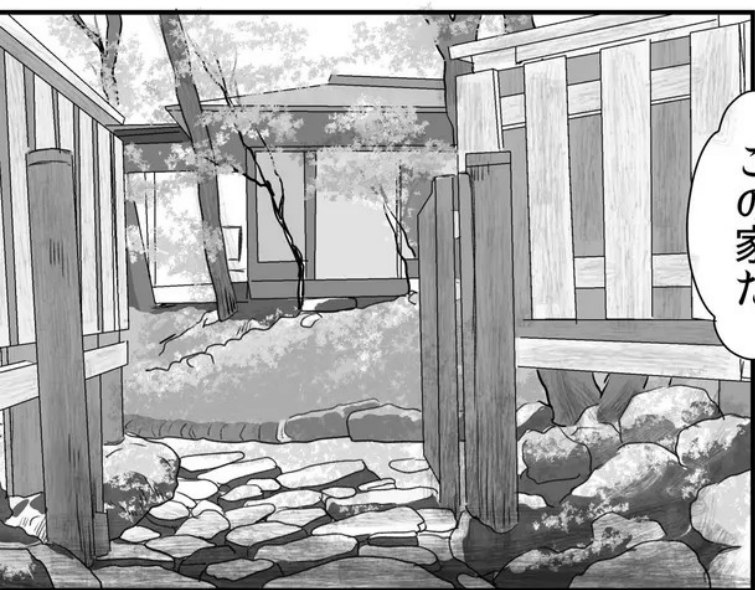


別荘住まい  
だって

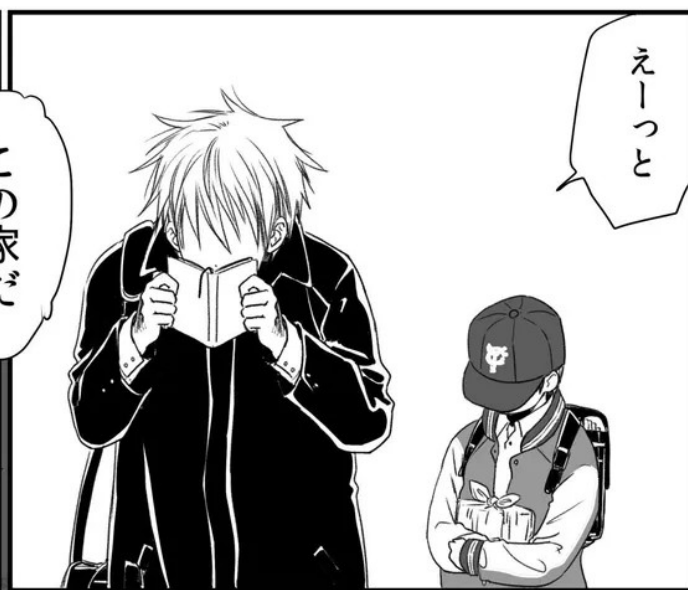
金持ちの家に  
もらわれて  
よかったな



ここから歩き  
だとな



この家だ



えーっと



東京から  
きました



ごめんくださいっ



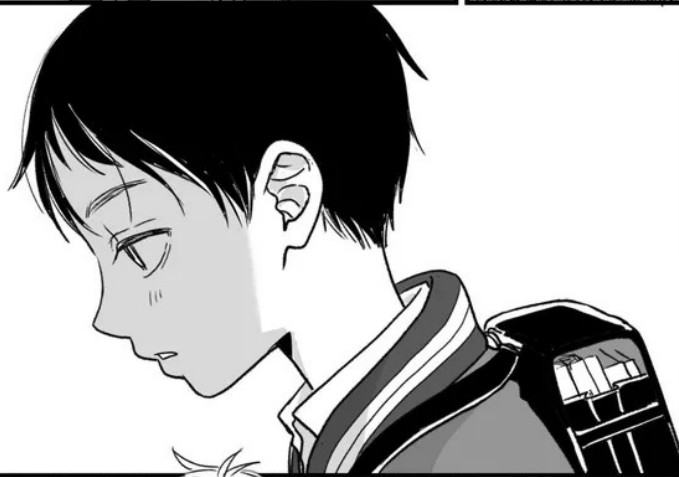
今日から  
お世話になります

宮内…  
五葵いづきです



いやあ  
思ったより遠いですな

ささっ  
自己紹介!

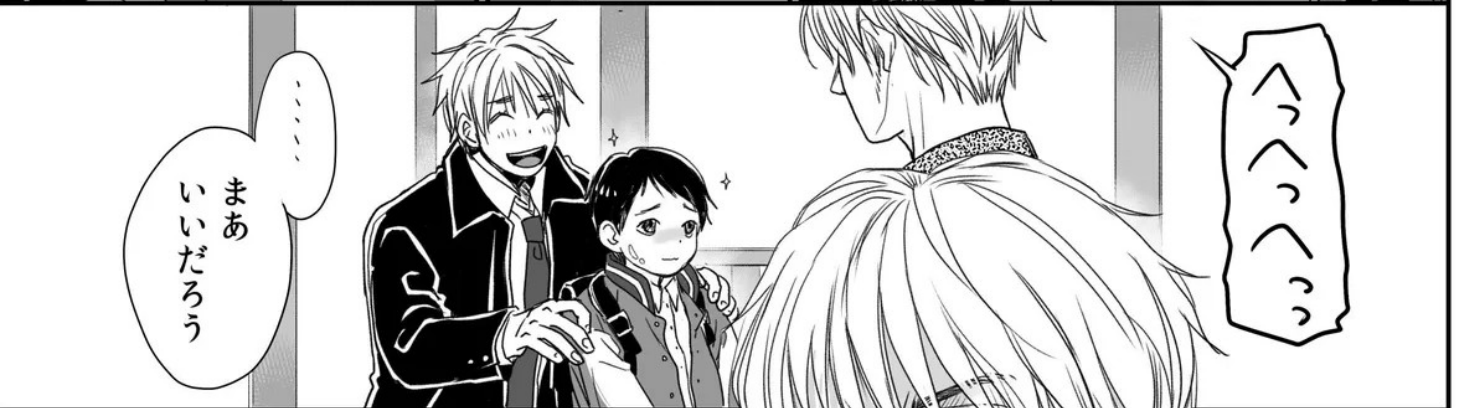


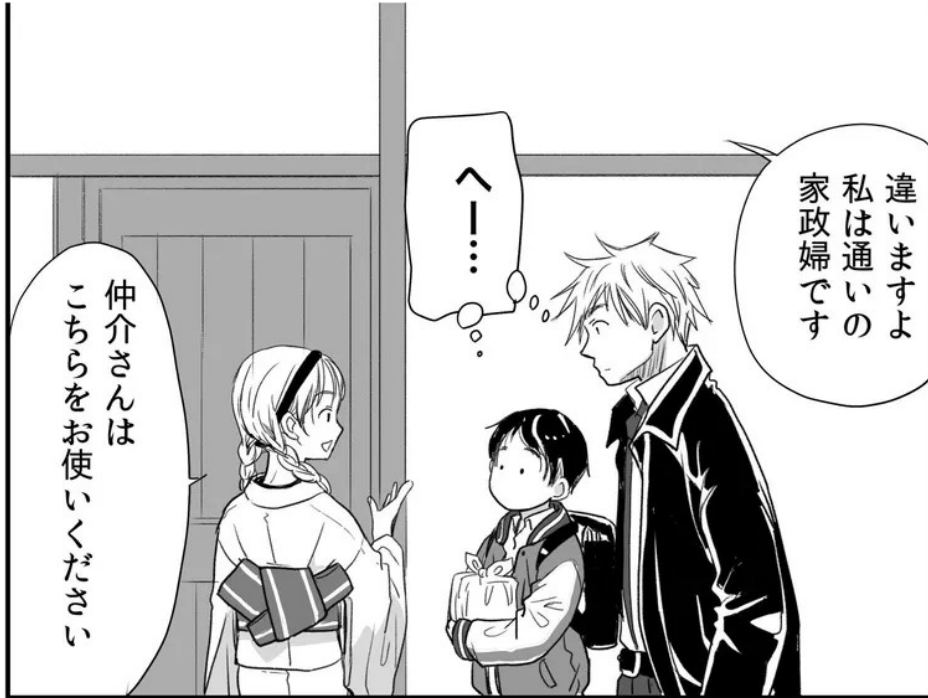
写真で見たより  
みすぼらしいな

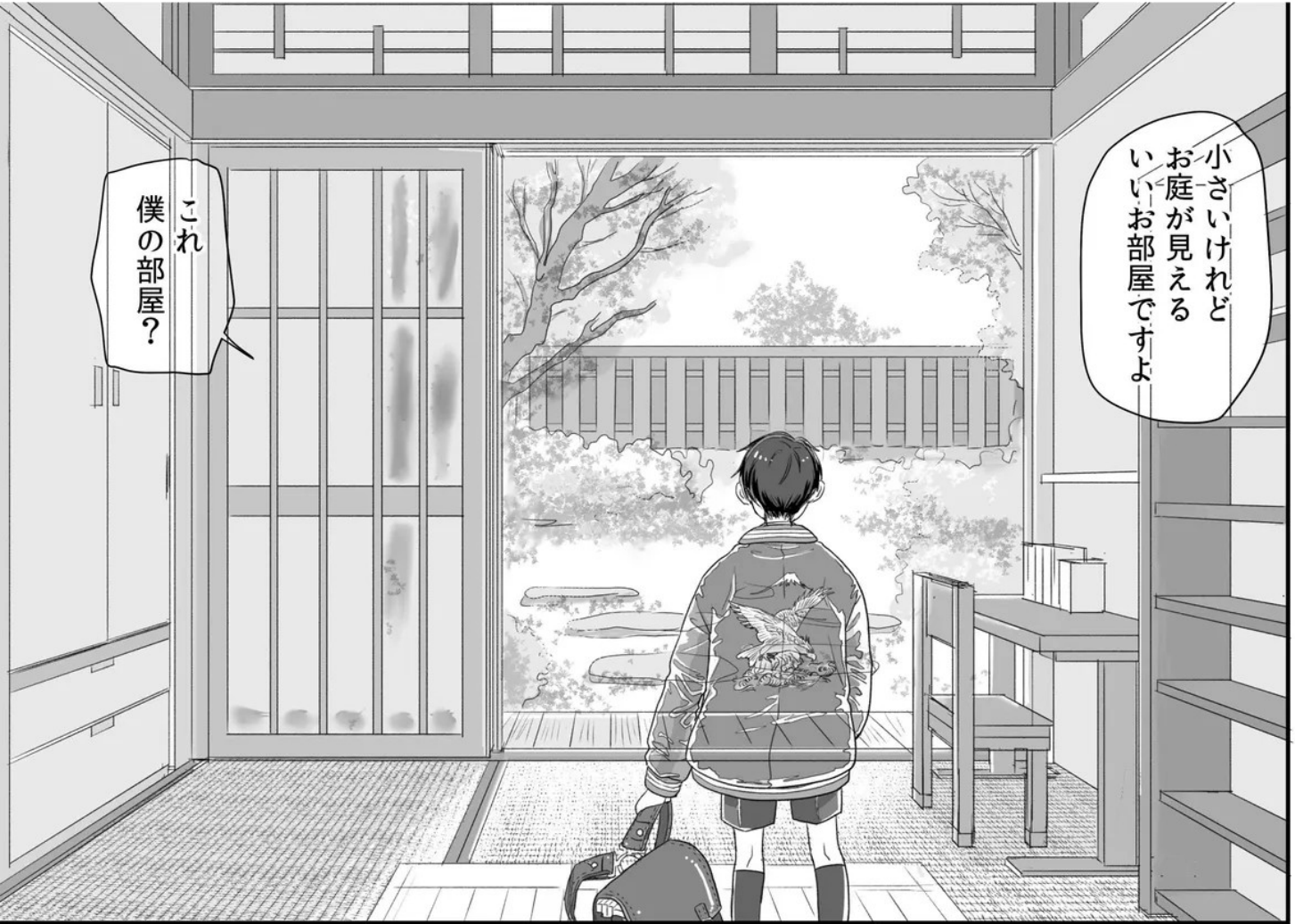


そそそ  
そんな事ない  
ですよっ  
烏丸  
さまっ

こんなに可愛いのに  
何言ってるんすか!







ここが今日から  
俺の住む家か：

すごいな  
縁側ある部屋



あとは……



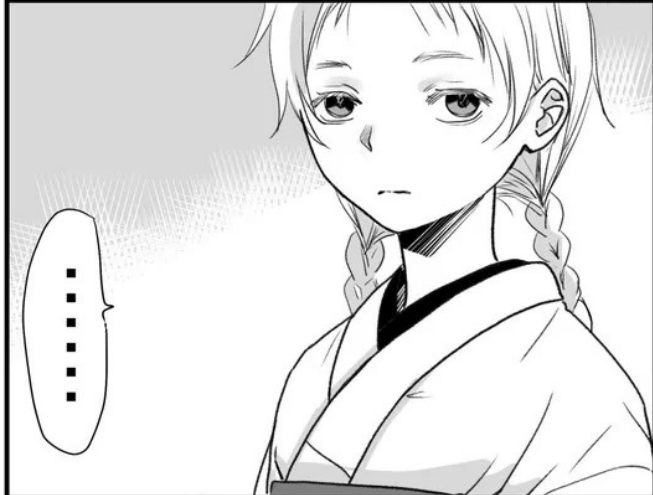
コイツらは  
ここで大丈夫  
かな……



あっ  
ユキちゃん？



……

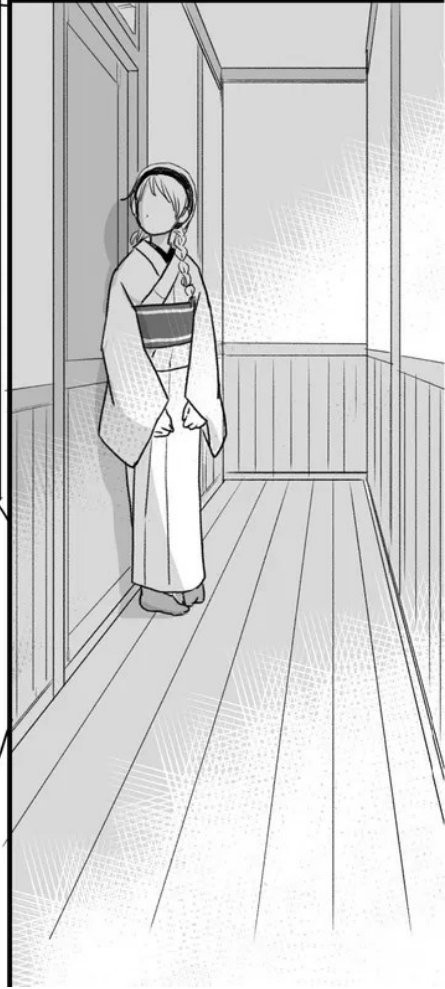


風呂って  
すぐ入れるんかな？



三〇分ほど後から  
坊っちゃんが先  
お入りになりますから

仲介さんは  
その後で  
お願いします





お背中  
流しますよ〜

待ちます！

今夜は一本  
おつけしますので

え？  
ガキの後なのかよ



今夜は  
お肉にしますけど  
好きですか？

あ…  
はい

はい



坊ちゃんは

もう少し  
お肉をつけたほうが  
いいですね



あ…

私も  
楽しみ  
なんですよ

今日は旦那様が  
いいお肉を買って  
きてくださって  
いるので

お肉

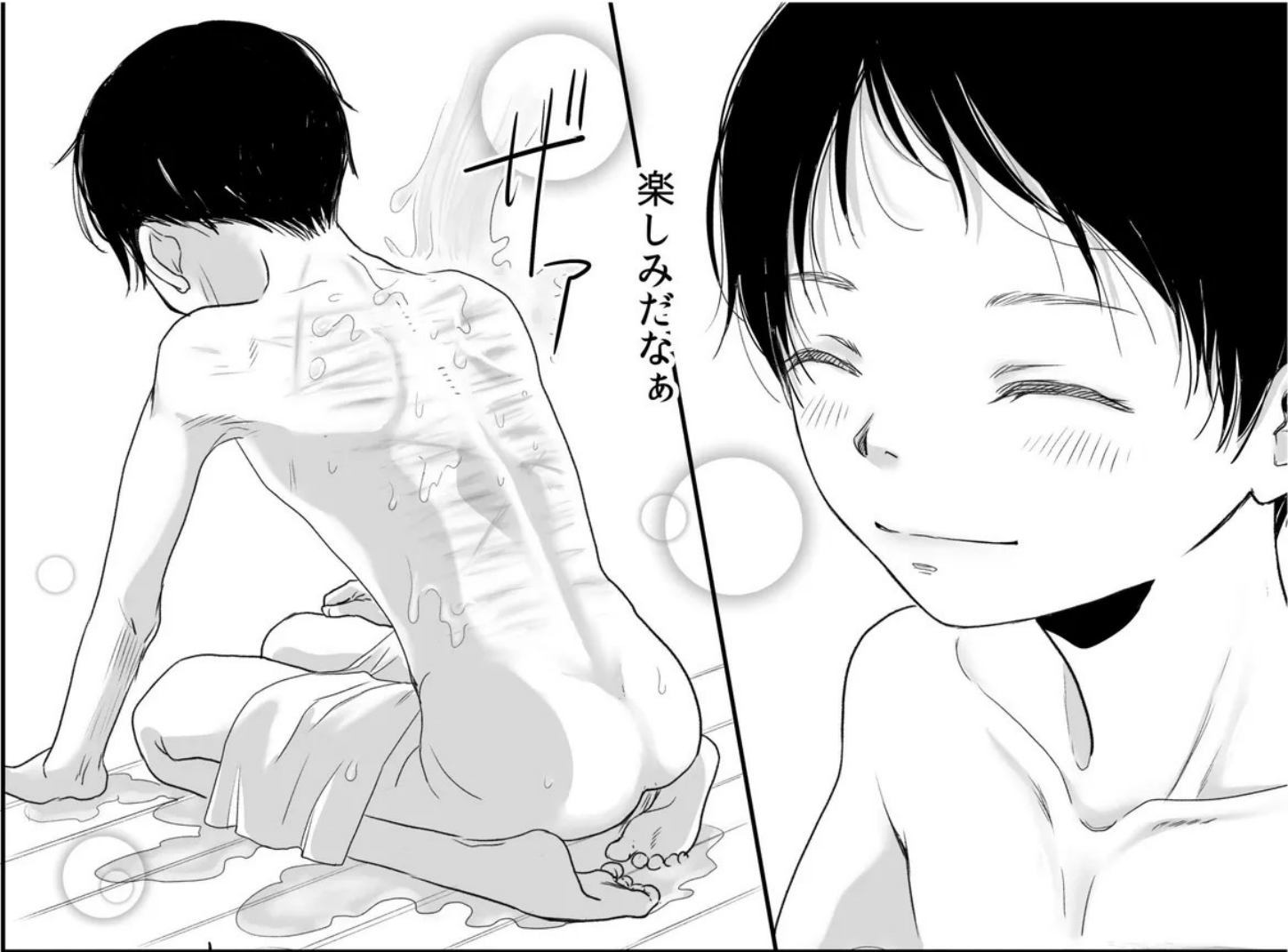
お肉

お肉

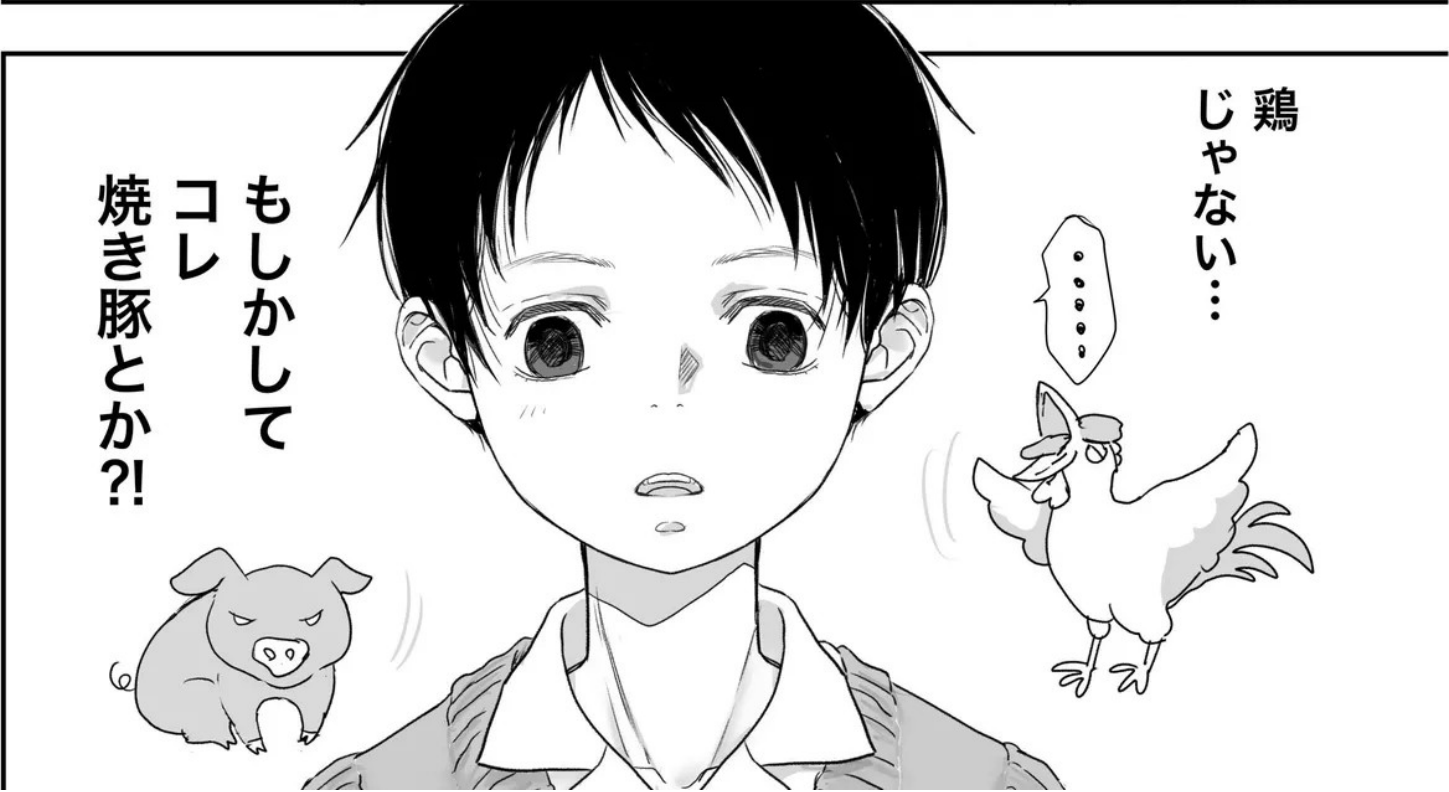
お肉

お肉

お肉



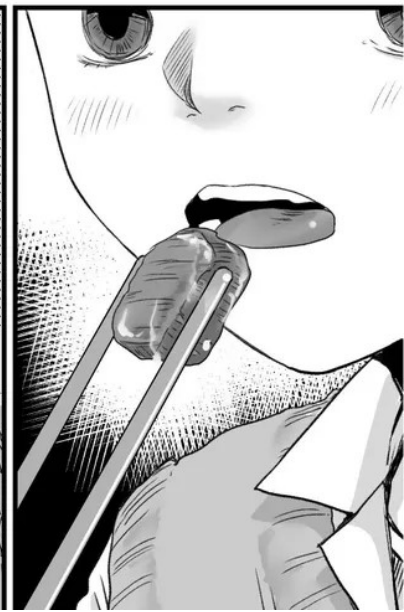
楽しみだなあ



鶏  
じゃない…

もしかして  
コレ  
焼き豚とか?!







ビフテキ!  
くうまーっ

行儀の悪い  
子供だ

むるっ



めちやくちや  
うまかったな  
ビフテキ!

腹いっぱいだ...

荷ほどきは  
明日にしよう!



あ  
布団敷いてある!

なにこの布団  
フワフワ!

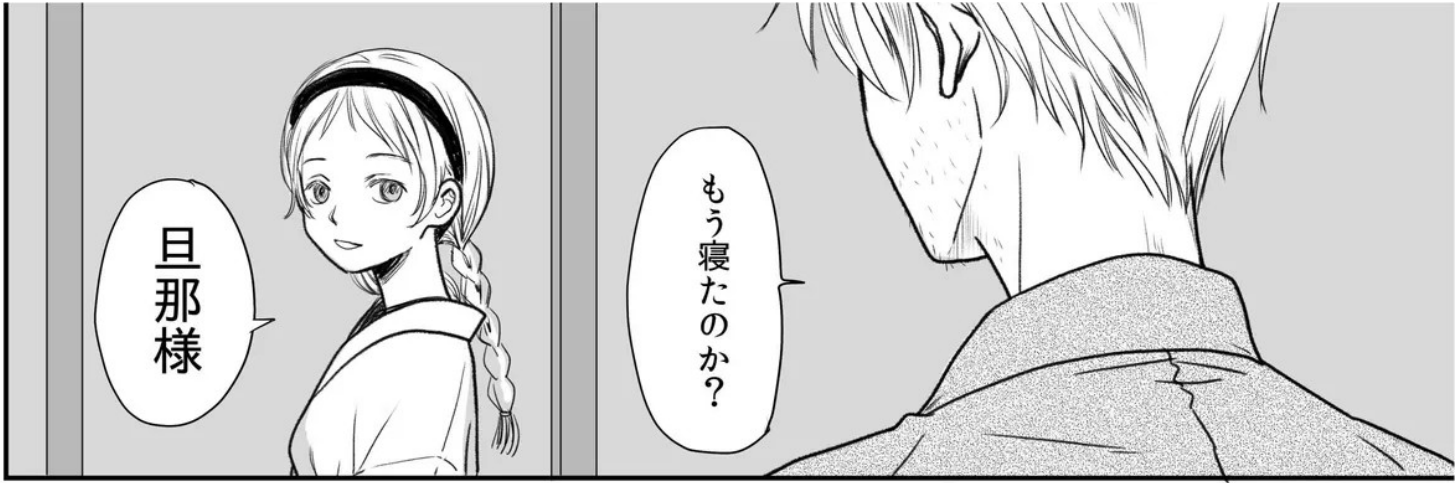


俺 あんなの  
食べるの初めてだし

婆ちゃんも  
食べたこと  
あるのかな...

節楽治等居位





旦那様

もう寝たのか？



もう上がって  
くれ

幸恵くんも  
今日は遅くまで  
世話をかけたね

はい



そのようですね  
今日は1日移動で  
お疲れだったのでしょう



すっかり  
痛みもないのか

無数の跡が  
ありました

本人に自覚は  
無いようでしたが…



ああ…  
あの子の

背中…





東京から来た  
宮内五葵君だ

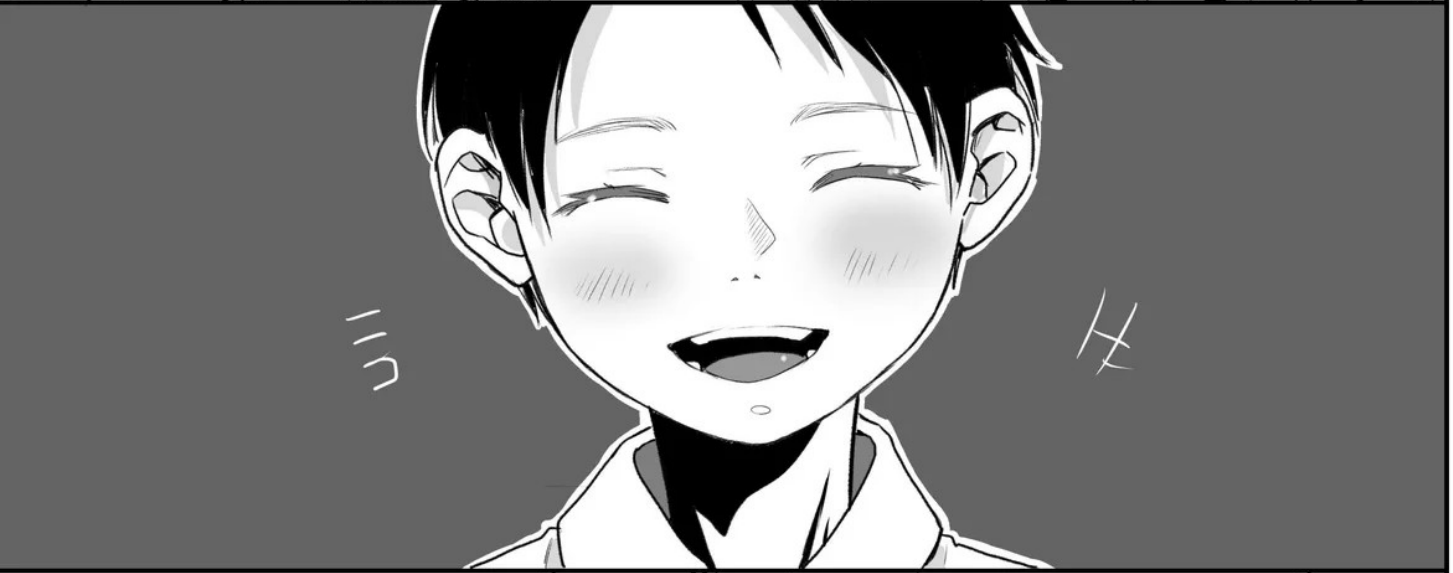
みやうち いっき  
宮内五葵

宮内です  
よろしくお願いします

宮内君は養子になる予定なので  
近々苗字が変わるかもしれんが  
みんな仲良くな!



はい!

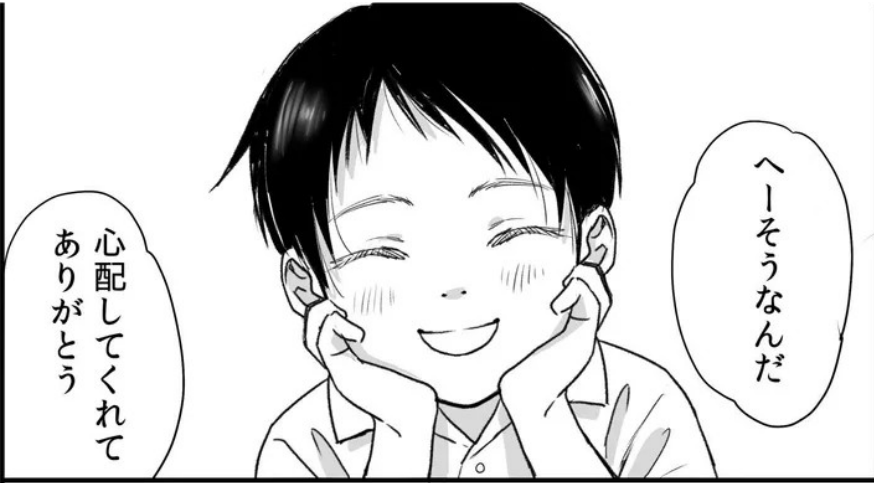


苗字変わるくらい  
珍しくないからな  
俺 山瀬敏太

ボク月岡栄太郎

前の席の飯田は  
跡取りが戦死した  
親戚の家に

向こうのロレンスは  
孤児院から来たって  
言ってたな



心配してくれて  
ありがとう

へー そうなんだ



ここらは外国人  
いっぱい  
住んでっからな

外国人？



^^  
^^  
^^  
♥



いや！そんな  
心配とかじゃ  
ねーし！



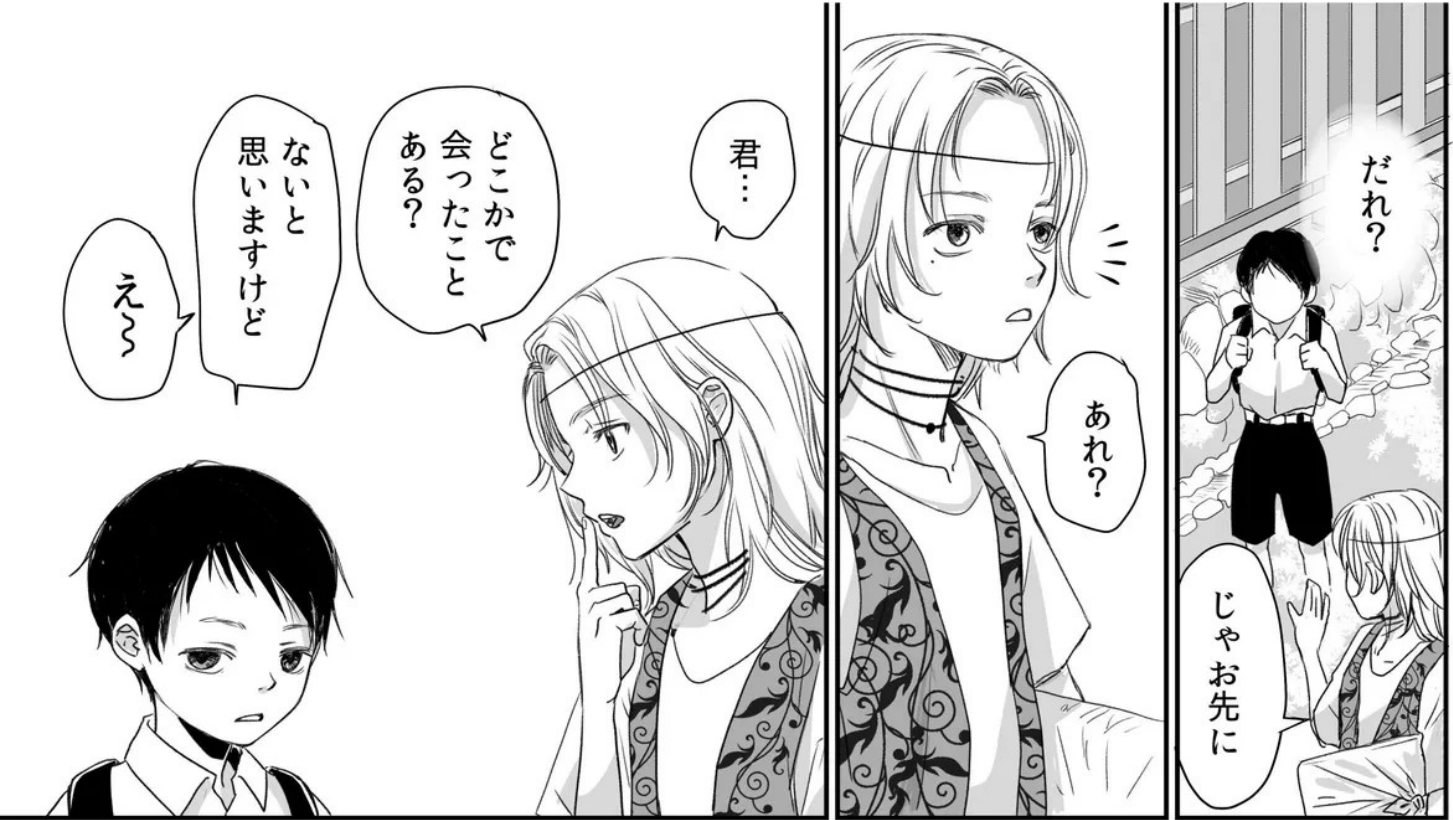
な訳ないか

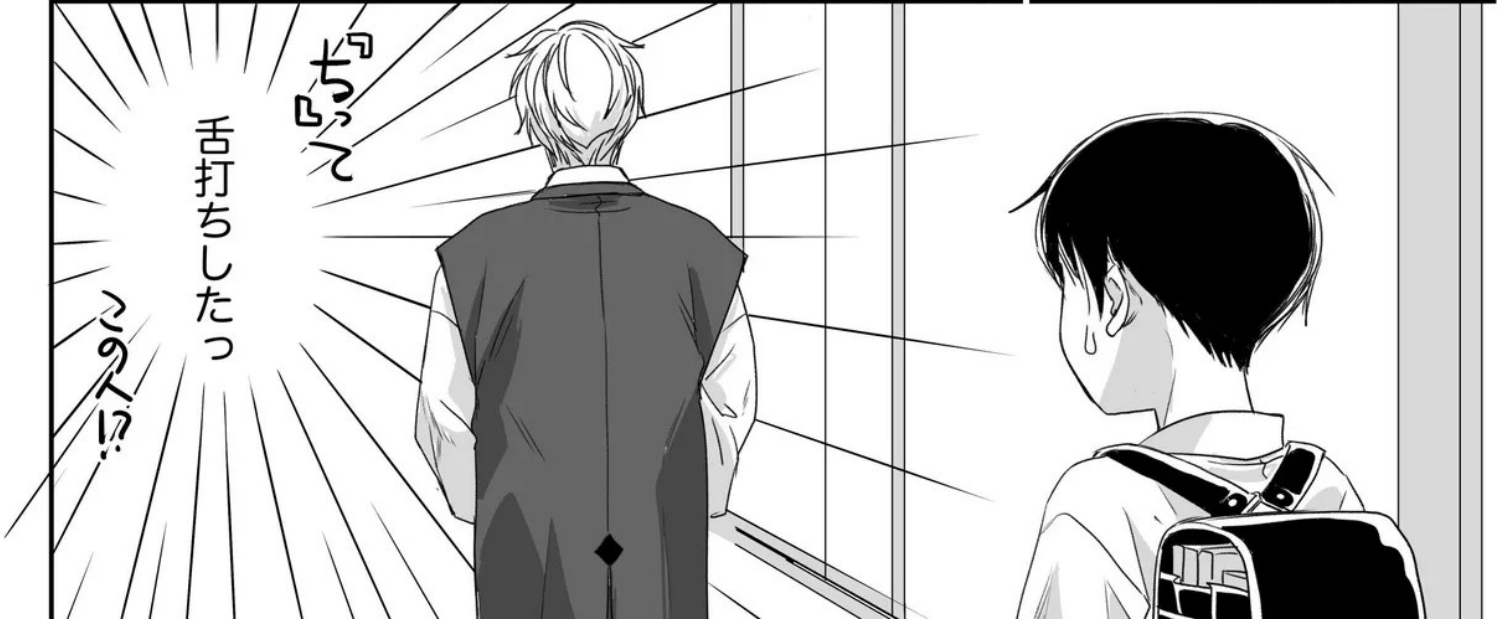
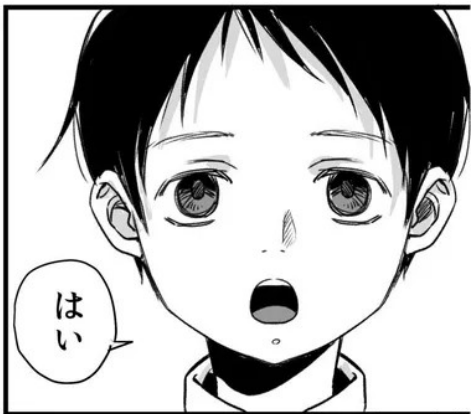
次の子？



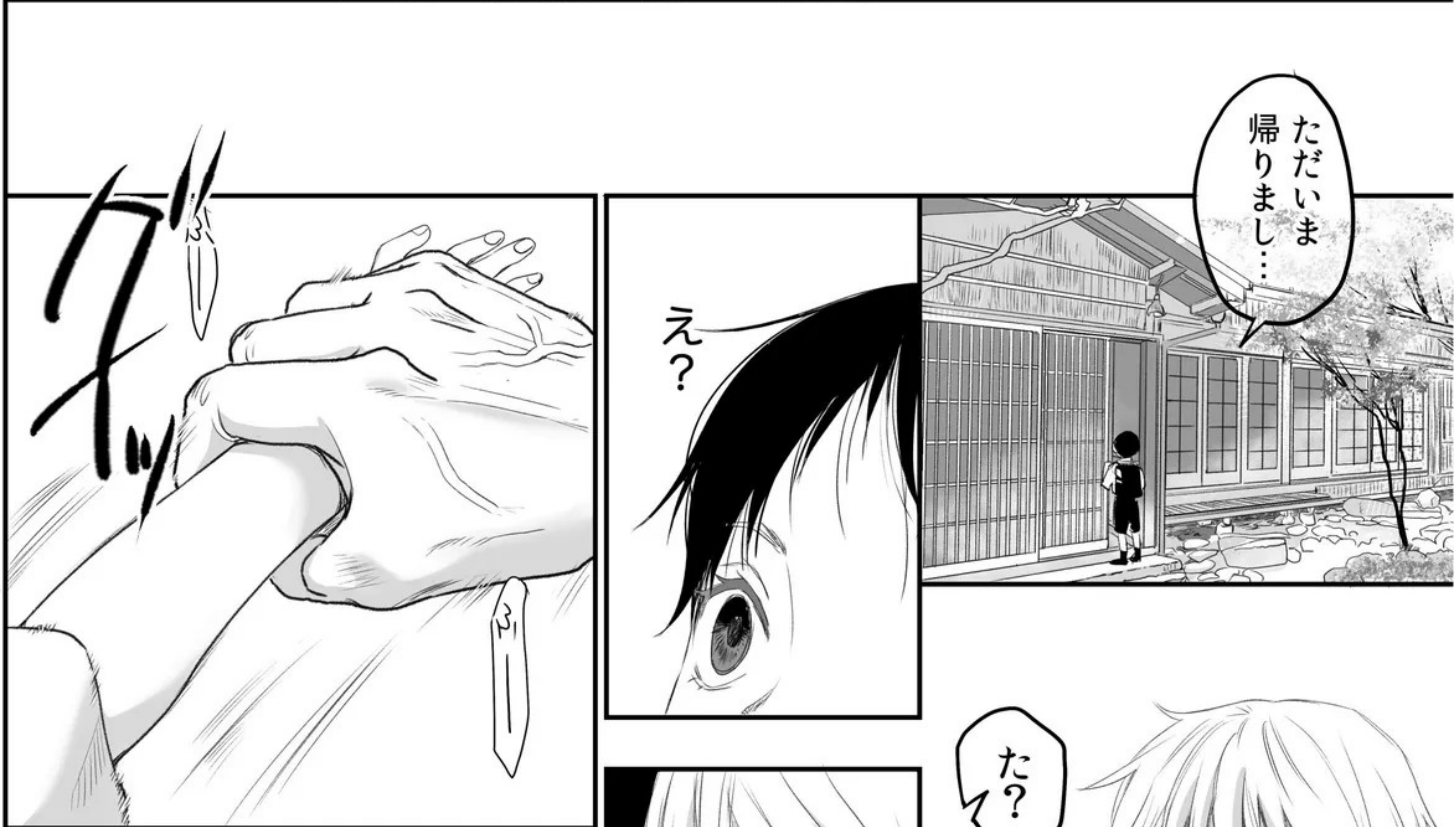
ごめん  
ごめん  
ごめんっ

？













辛かった  
ねえ



口をすぼめて  
もつと吸え

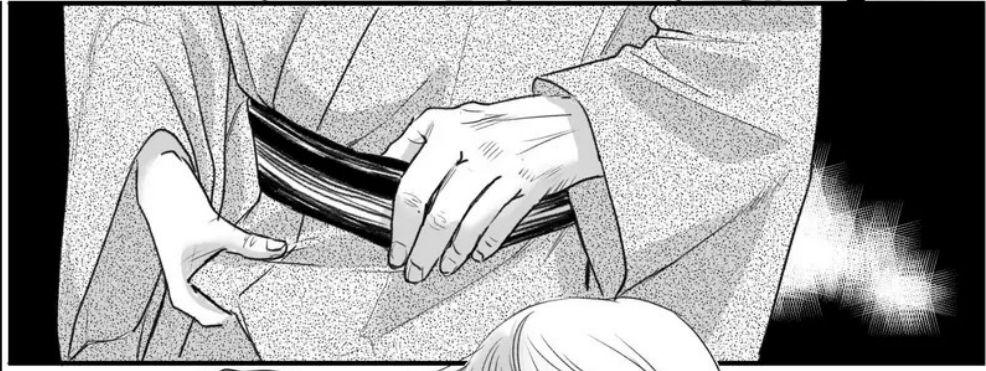
大変だった  
ねえ



かわいそうに  
ねえ



フッフ



離れには  
近づくな  
いいな





この話  
養子は



これくらい  
で済んだ

よかった…



やっぱり  
そういうことが



朝食はおにぎりを  
用意しときますね

わかりました

明日東京帰りますんで！  
この美味しい夕飯も  
最後か〜

旦那には  
挨拶しといたんで  
朝一で出ます



あー俺



土産に  
これ買ったんす

あ〜ソレおすすめです  
アツご飯で  
何杯でもいけますよ



坊



おー  
よかった  
見送りに  
出て来てくれて

気をつけて  
帰ってね

仲介さん!

明るくなるの  
早くなつたな



お守りだ

なに?

コレ  
持つてな

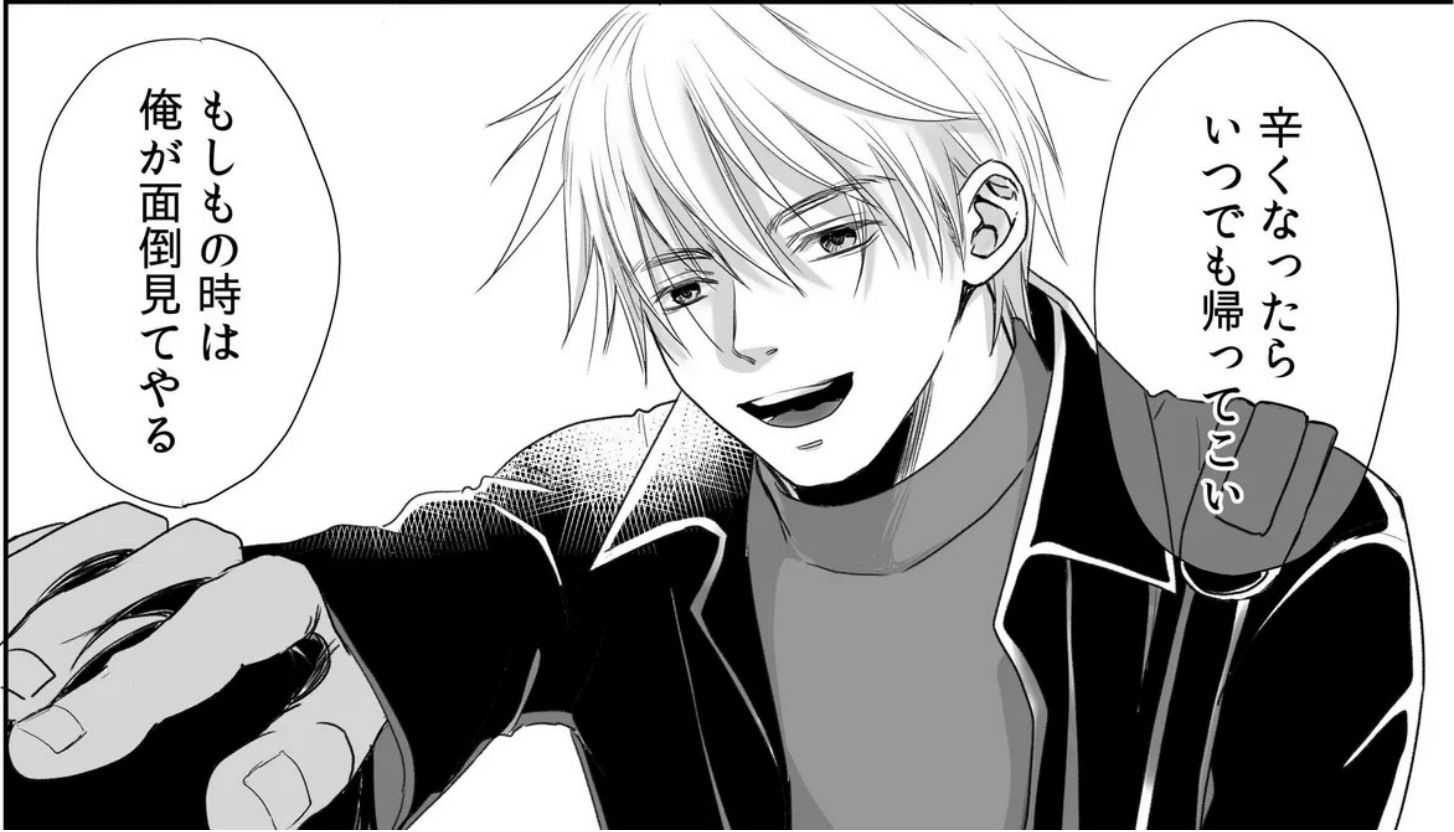


まあ  
食わすくらいしか  
世話できんけどな



セツさんには  
よくよく世話に  
なつたから

片道の汽車賃しか  
ねえけどな



辛くなつたら  
いつでも帰つてこい

もしもの時は  
俺が面倒見てやる



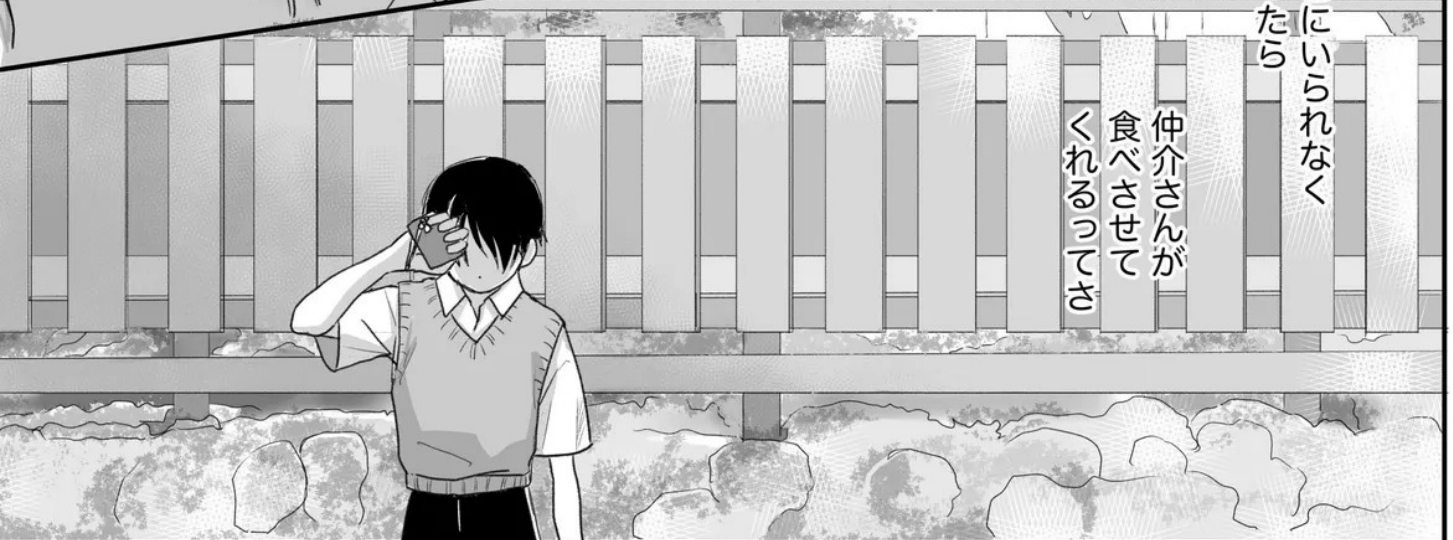
ここまでっ

元気だな!

ありがとうございます  
ございましたっ

婆ちゃん

ここにいられなく  
なったら

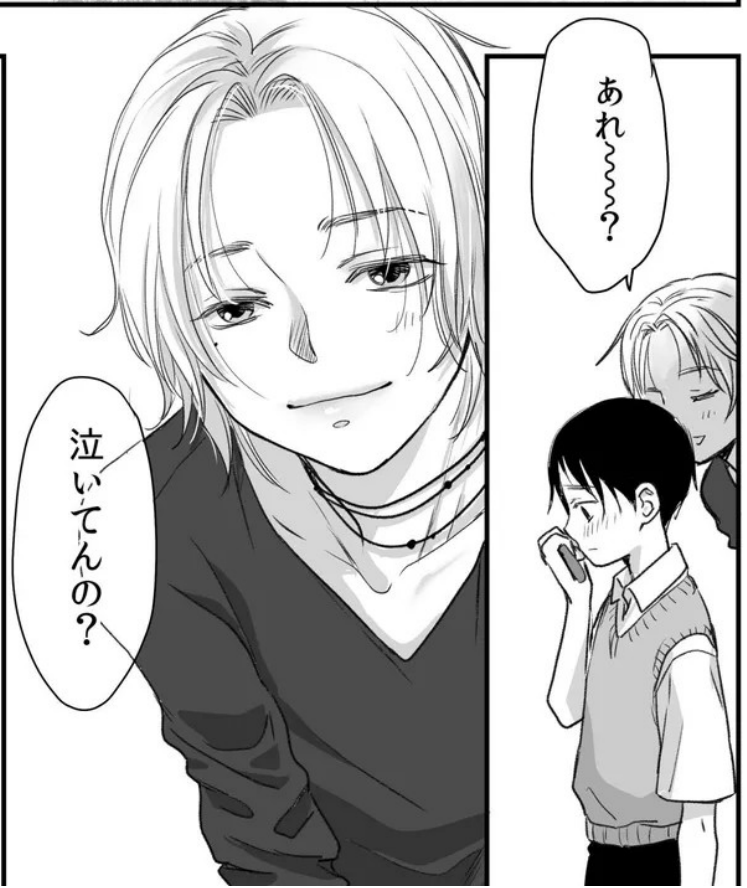


仲介さんが  
食べさせて  
くれるっさ



いいえっ

おはようございます



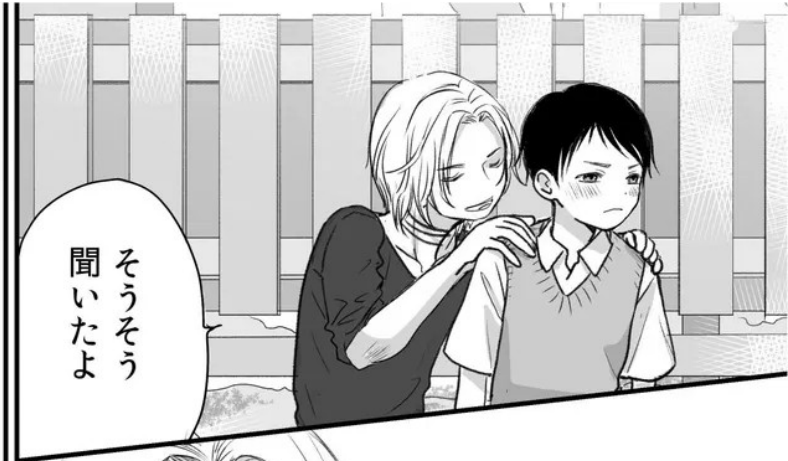
あれ〜?

泣いてんの?!



いいな〜  
オレも養子に  
して欲しいかな〜

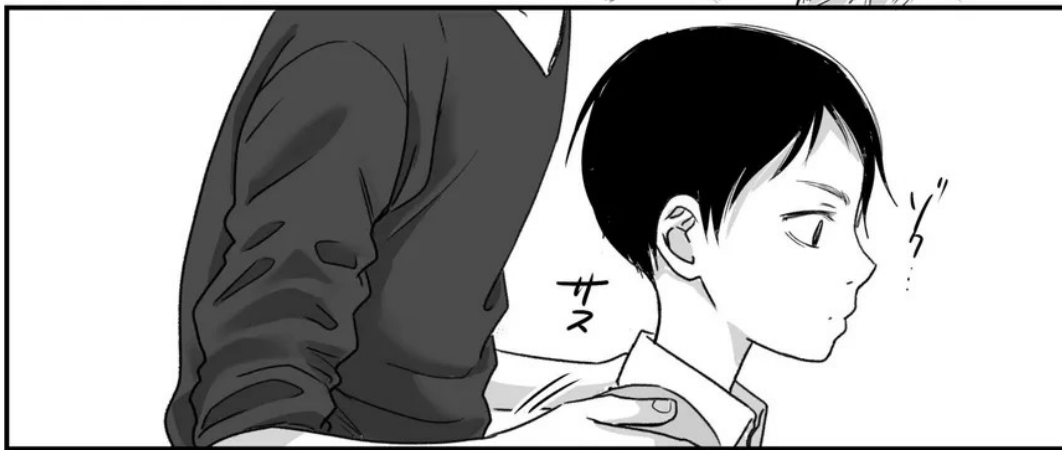
触るなよっ



そうそう  
聞いたよ

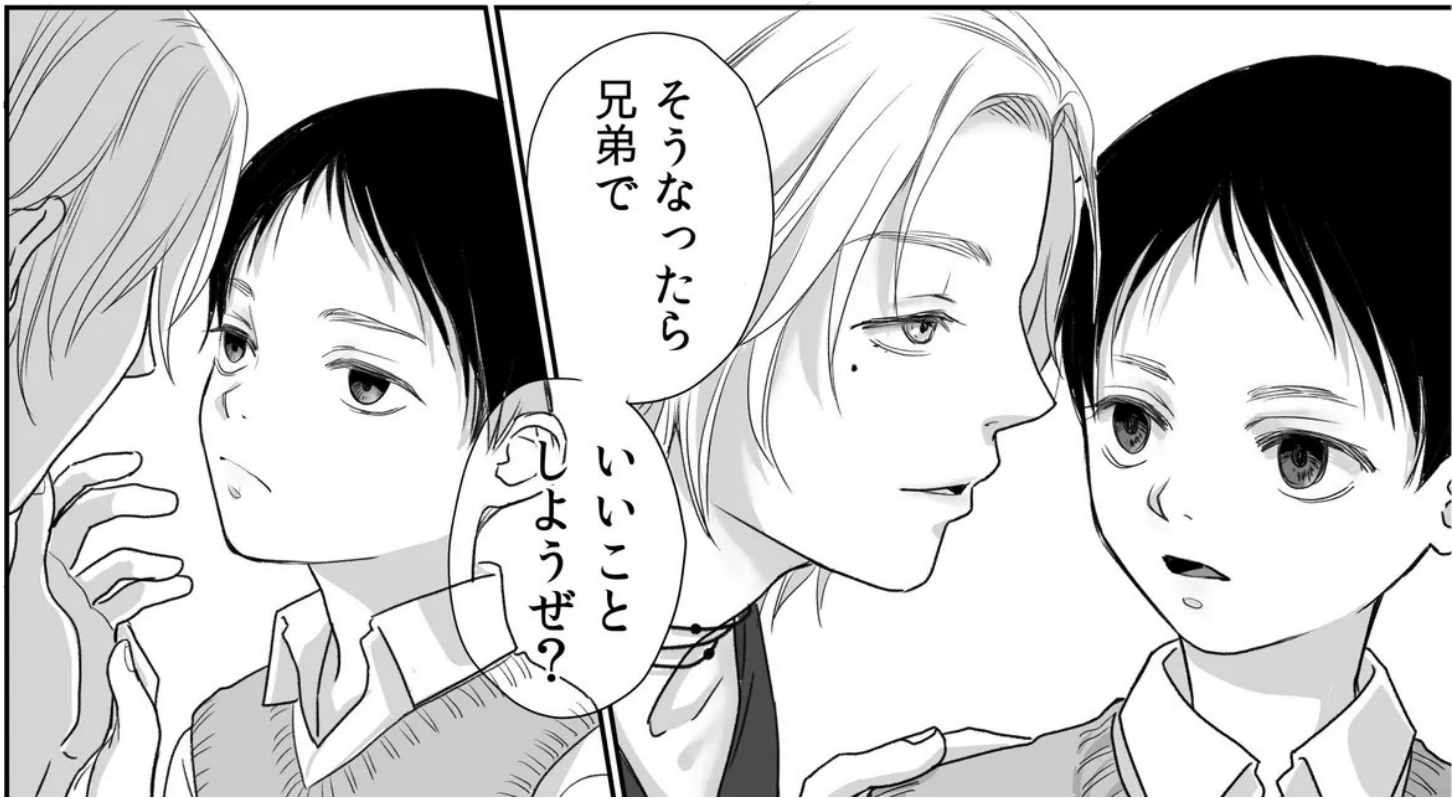


君って烏丸さんの  
養子候補なんだって？



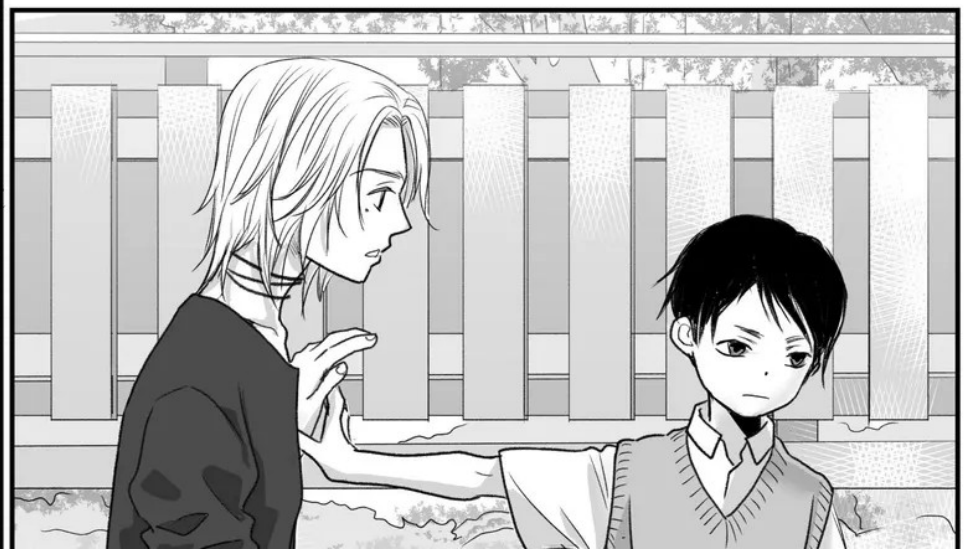
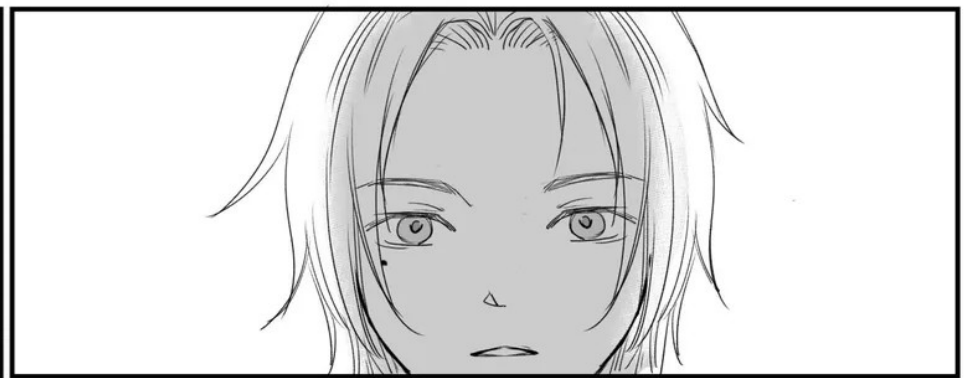
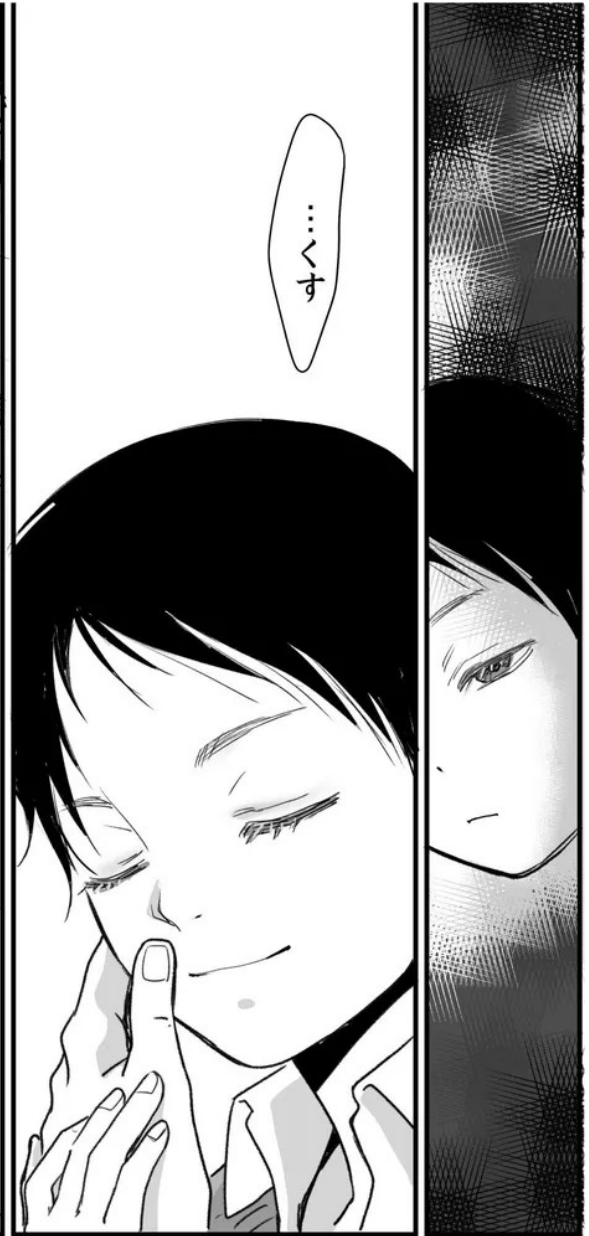
そしたら俺たち  
兄弟じゃん？

サマ



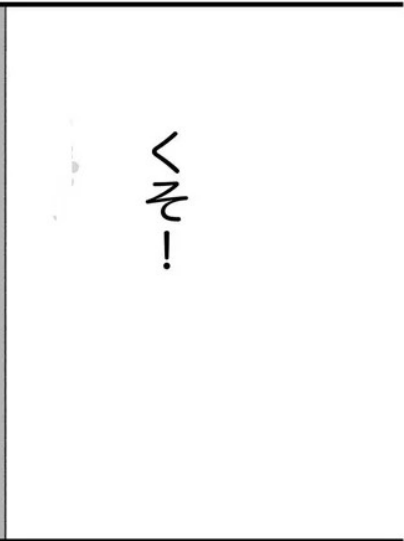
そうになったら  
兄弟で

いいこと  
しようぜ？





あんなこと言っ  
つもり  
なかったのにっ



くそ！



ねえねえ  
烏丸センセ

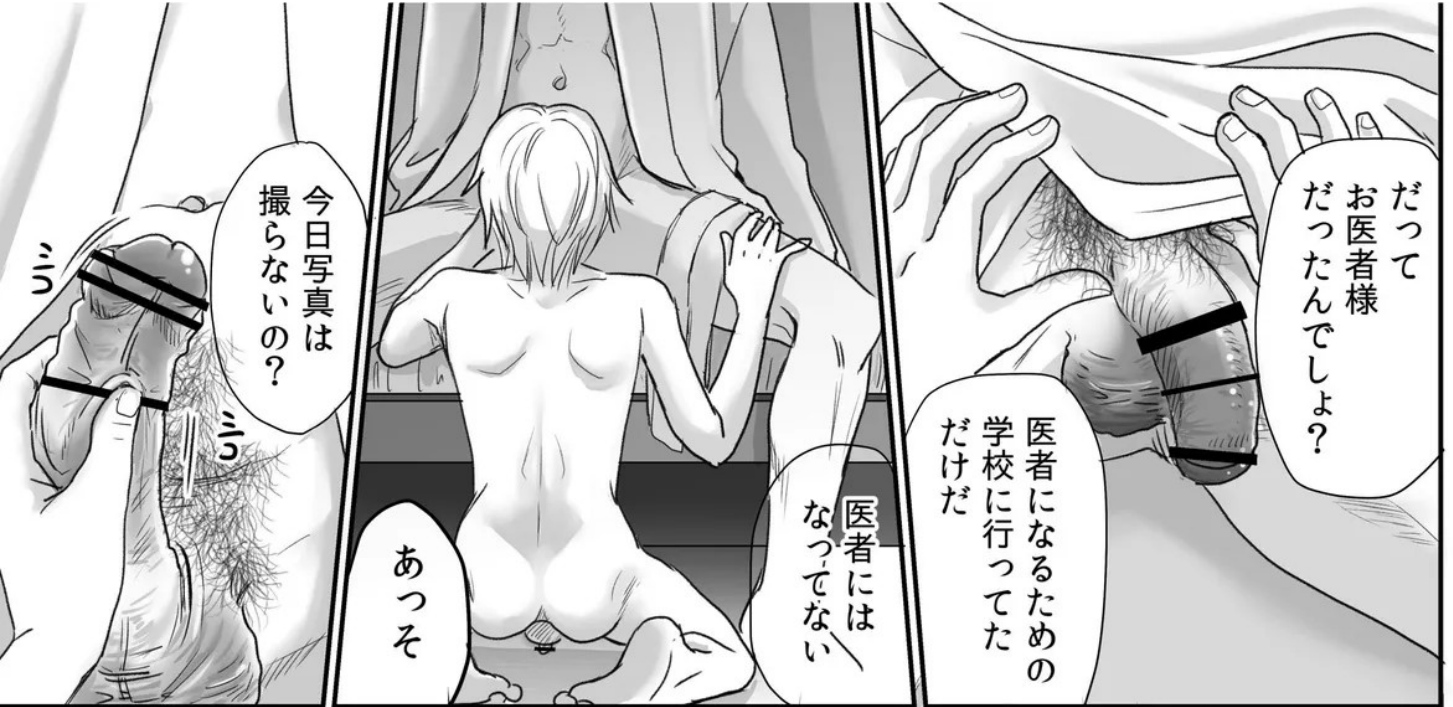
先生というな



ああー！  
そうじゃなくて！



烏丸さん絶対  
アイツとやってるっ



今日写真は  
撮らないの？

だって  
お医者様  
だったんでしょ？

医者になるための  
学校に行ったた  
だけだ

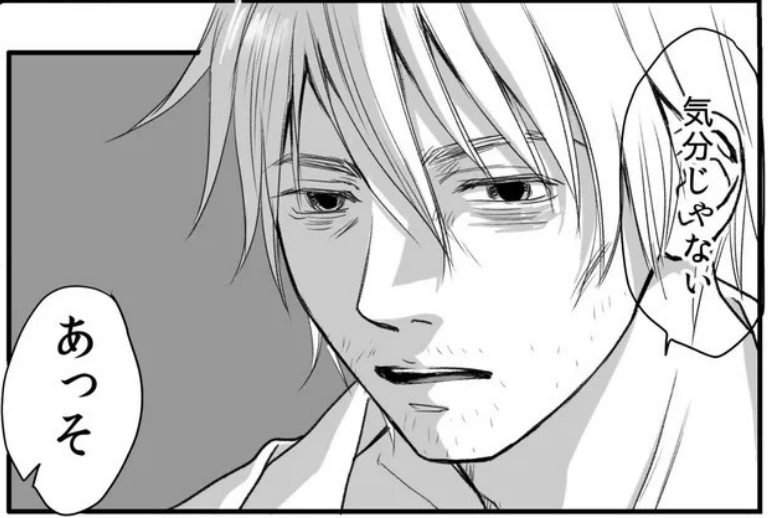
医者には  
なつてない

あつそ



玄関先で  
会いましたよ  
養子の子と

そういえば  
さつき



気分じゃない

あつそ



こっちなんとか  
してあげたいんだ  
けどな〜

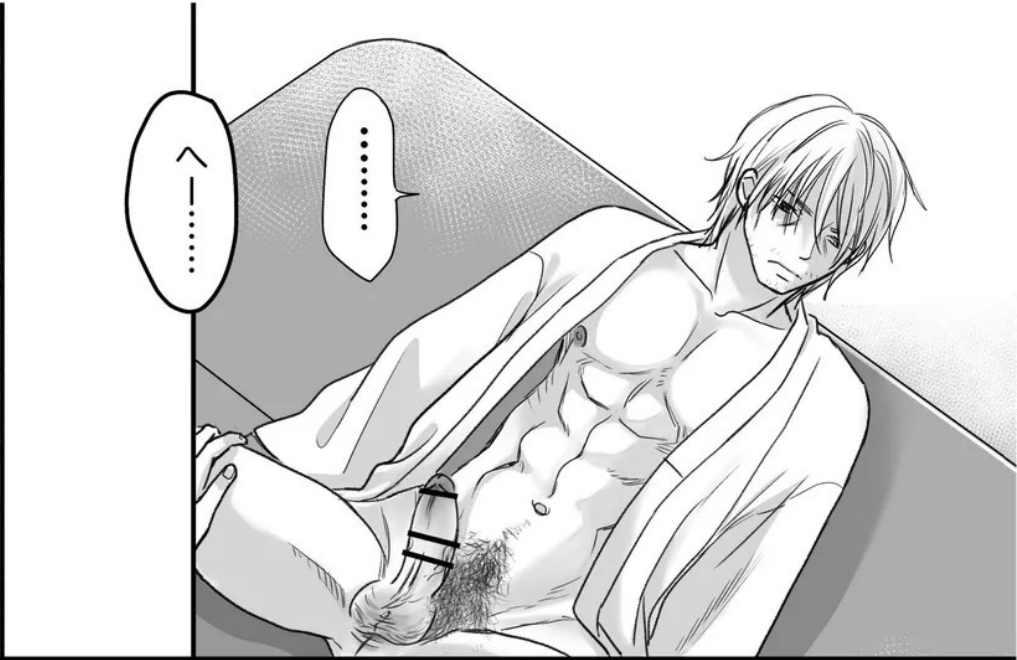


ん???

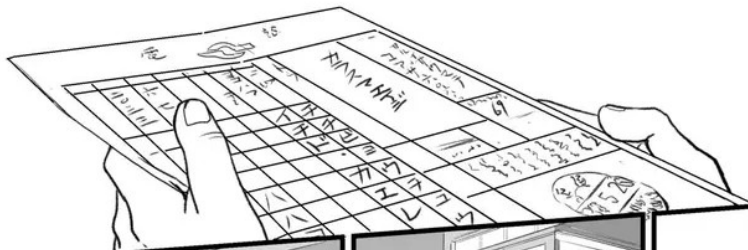


：そうか  
ここへは来ないよう  
言い含めてある

安心しろ

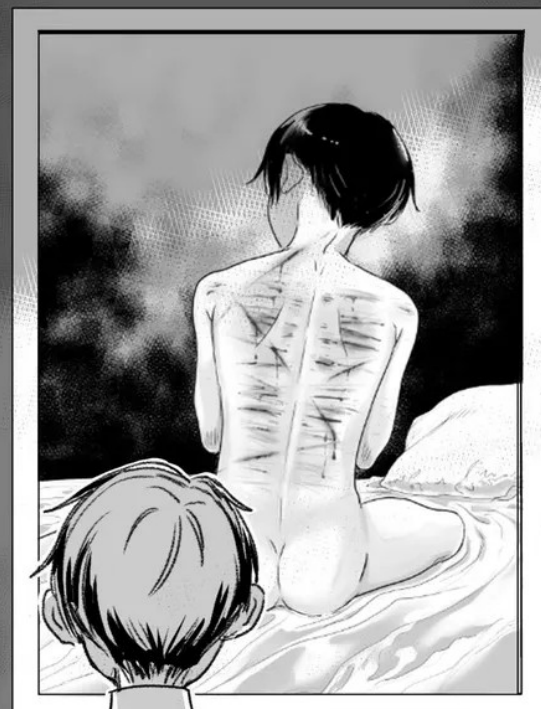
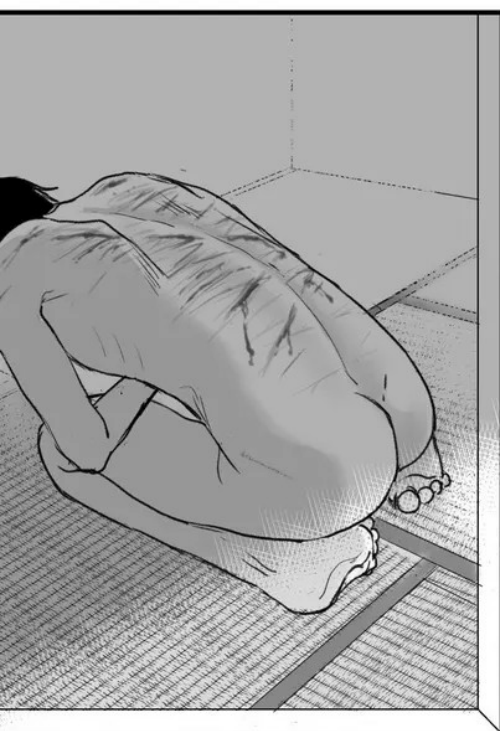


チチビヨウチュウ  
イチドカエレ





電報が  
来て…





あの  
電報が…

誰か  
いるのか…

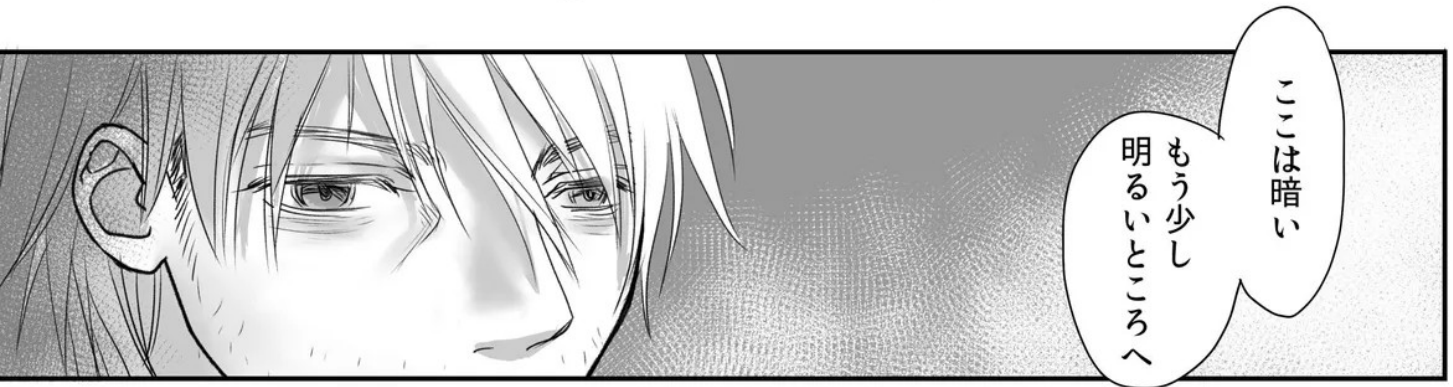
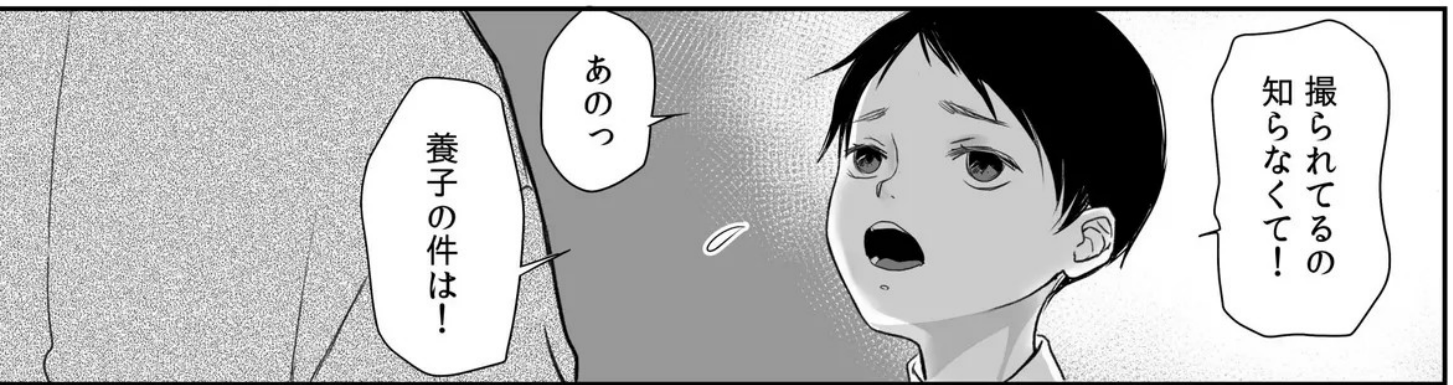


部屋の中を見たか？

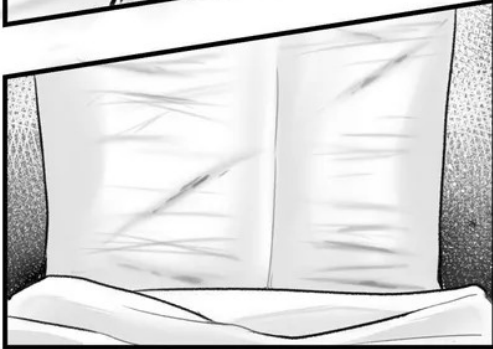
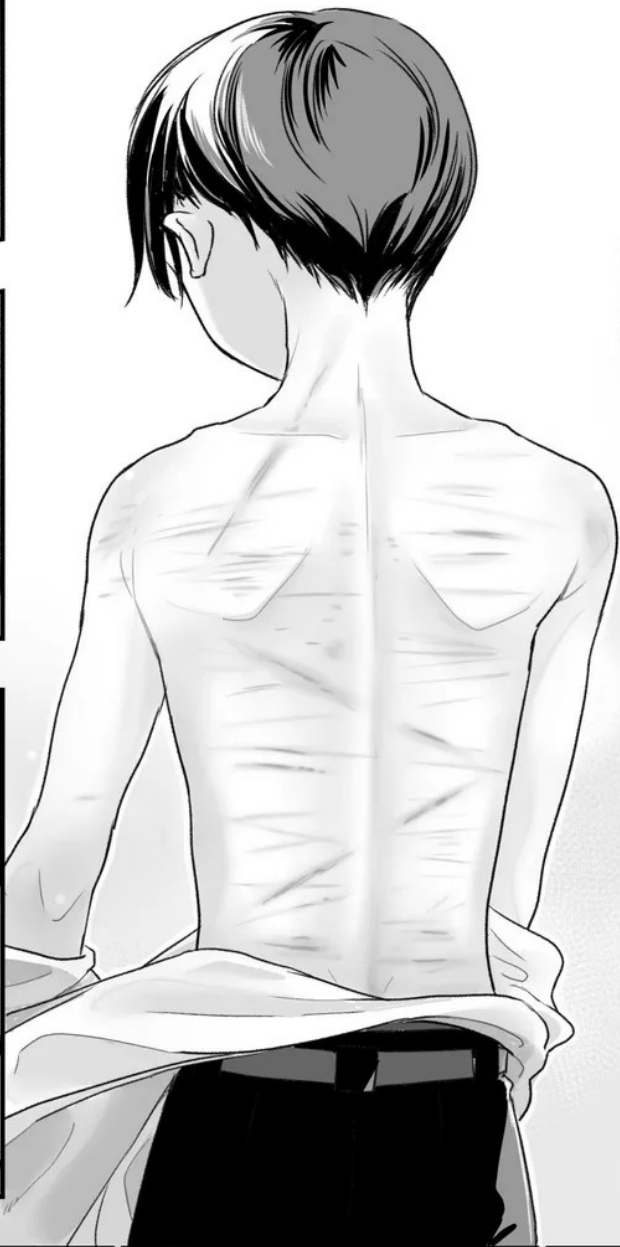


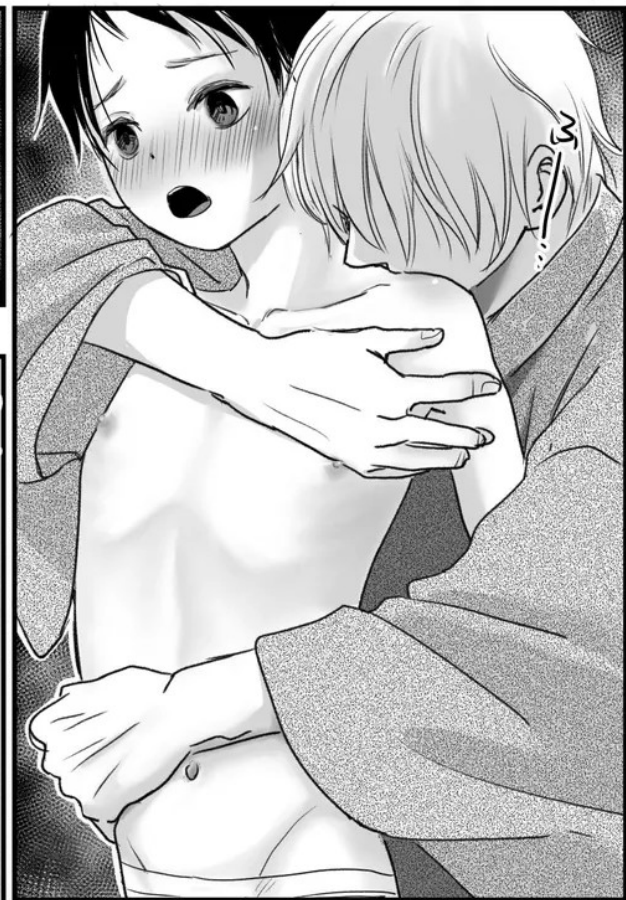
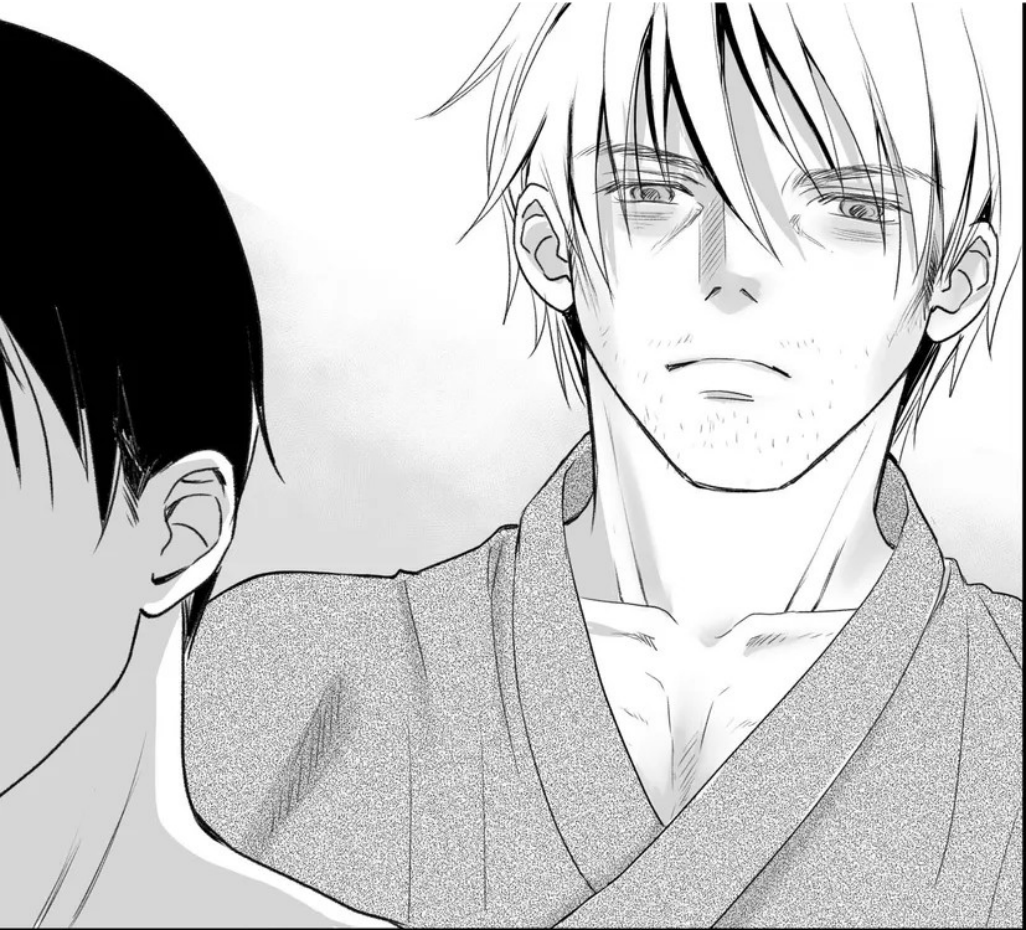
そうか…  
あれが何か  
知っているか？

—はい



もう1年も  
経ってるし  
痛くもないんです







ここでの事は  
忘れて

明日：  
あの汽车租赁を  
使って帰ろう

元いた場所に戻ろう…



この間は悪かった  
無理やりだった



あの写真は  
偶然上野で  
手に入れた  
この半年ずっと  
お前を探していた

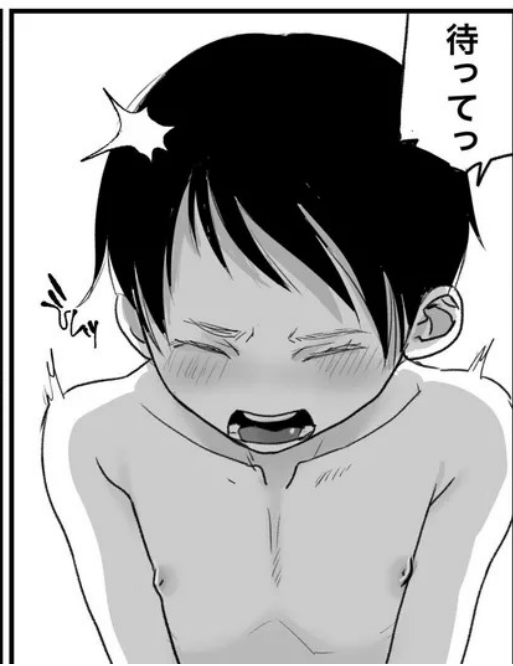


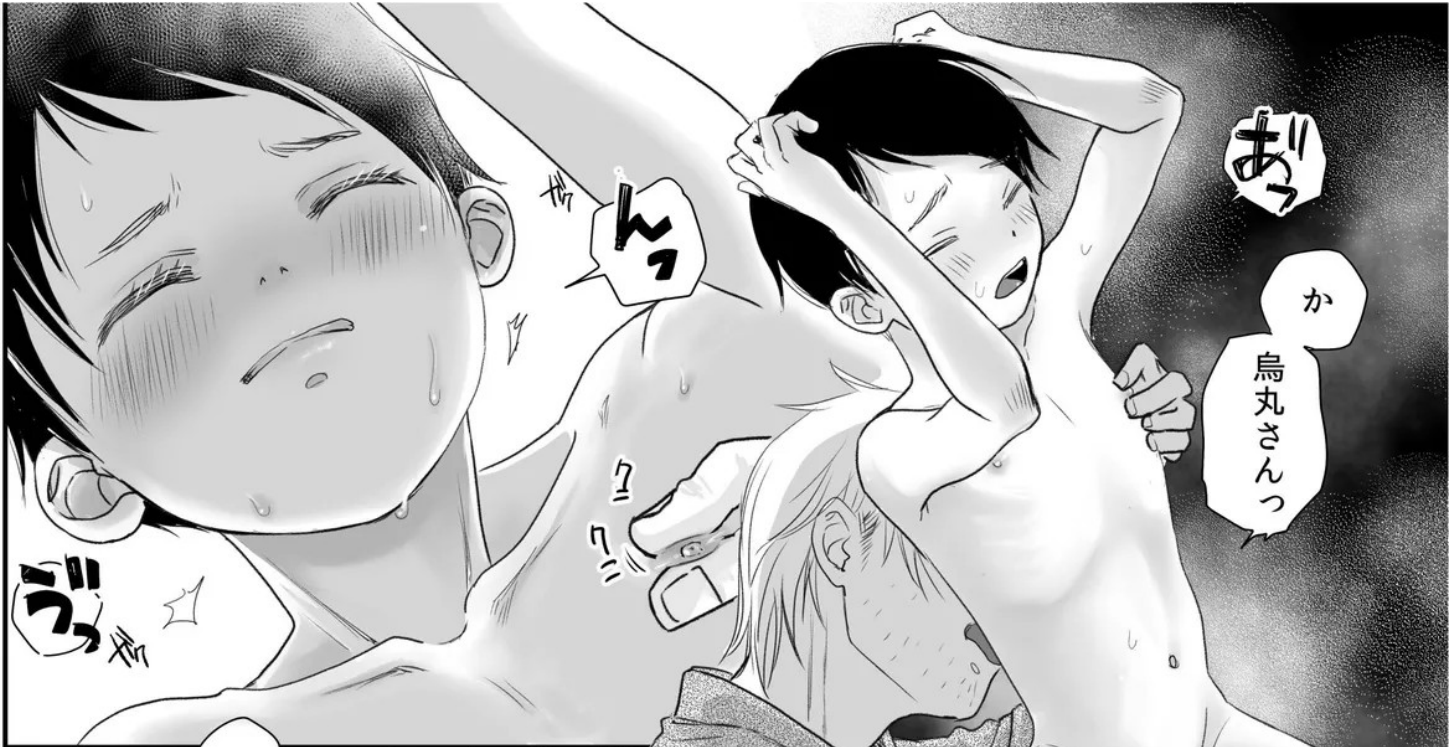
いえ…



やっとだ  
この傷跡……



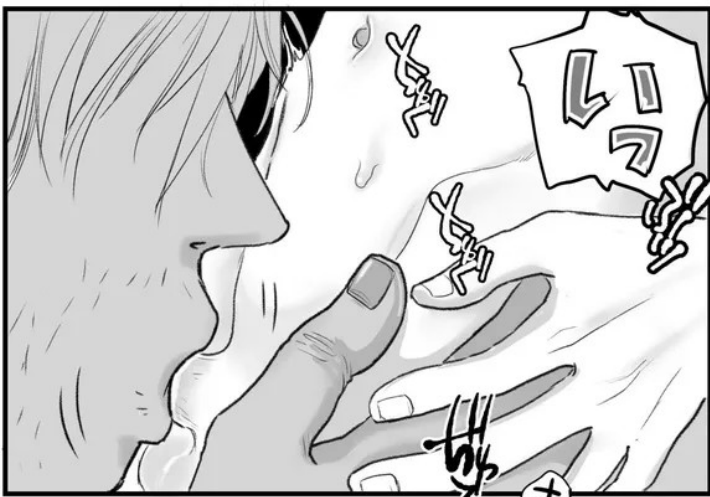




あ  
か  
烏丸さんっ



烏丸さん  
あの…





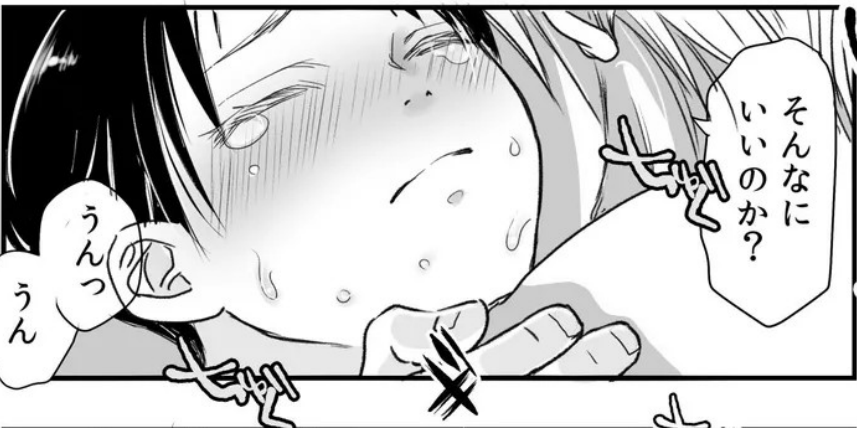
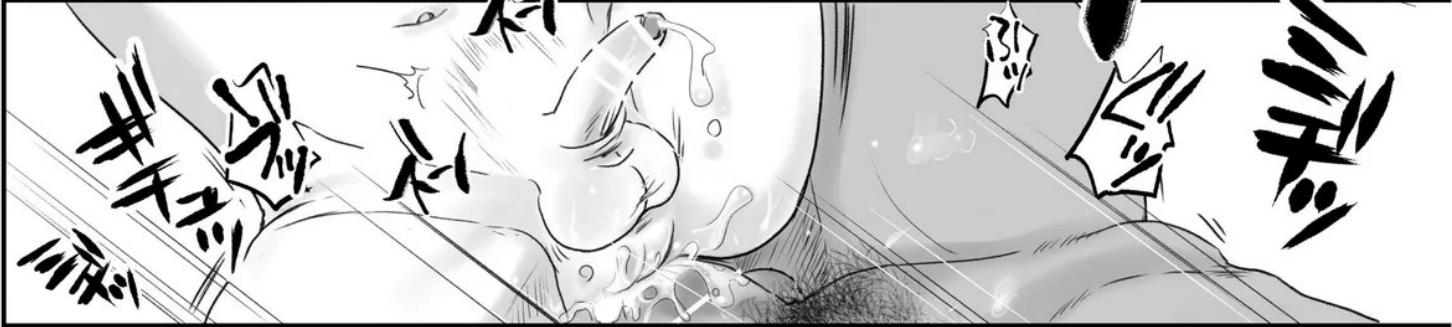
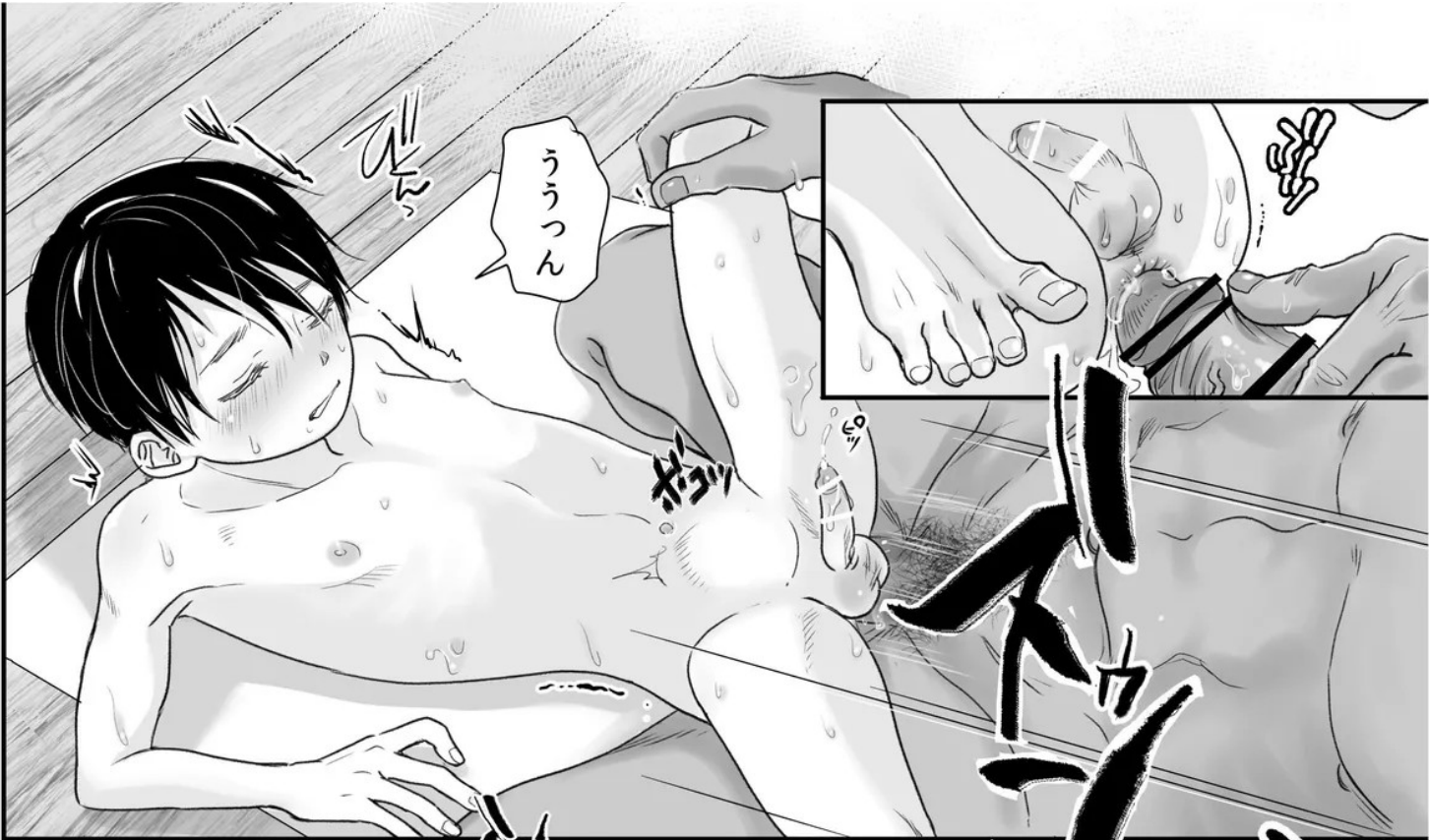
柔らかいな...

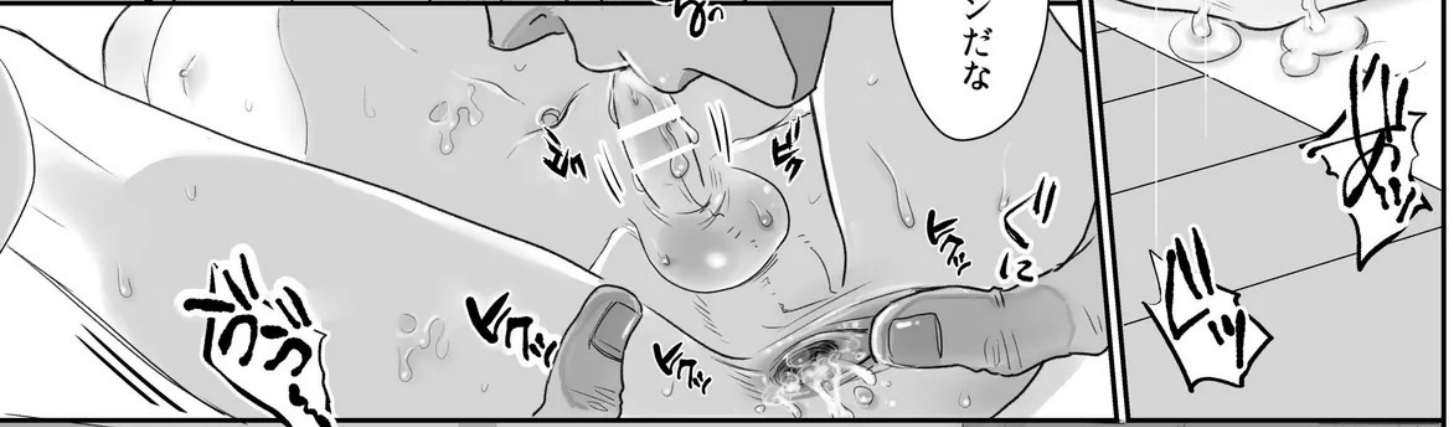














最初が  
この人だったら

この人のことも  
怖い人になってたと  
思う...



次は

自分で  
しなさい



は...  
よかった

ぽ

俺は  
インランで



もっと

大きく  
なった

けど...

すごく  
気持ちいいから



ずっと一緒に  
暮らしたかったなあ

この人と

しゅっ

しゅっ

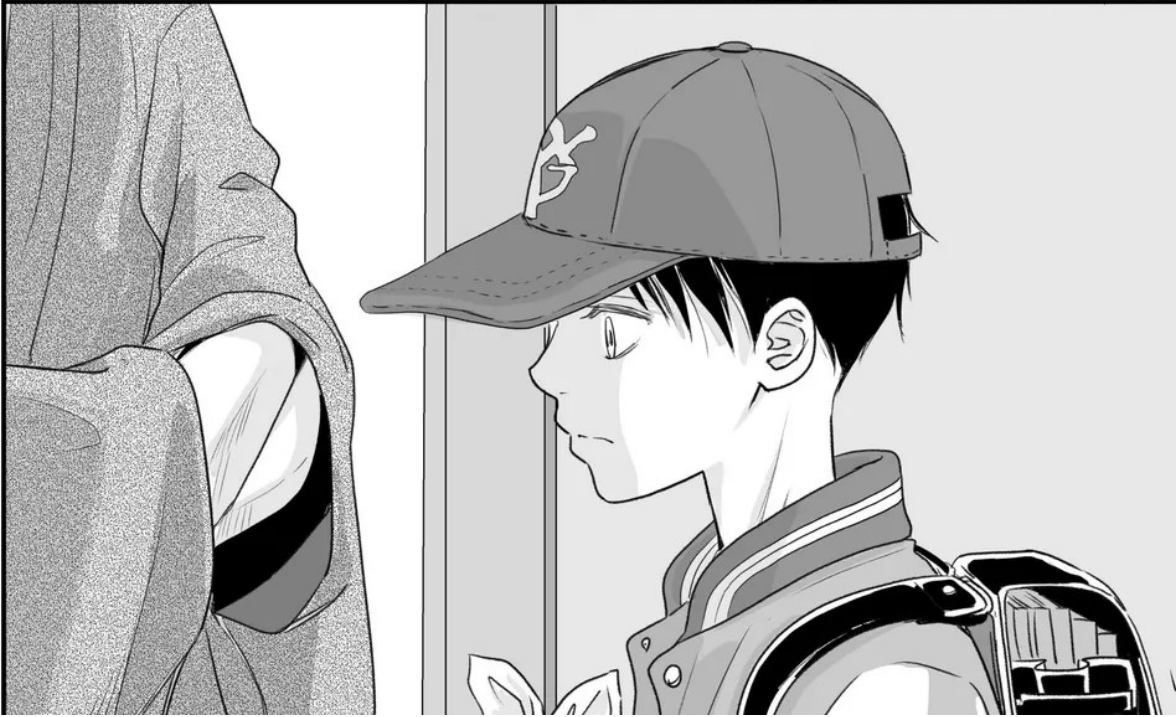
しゅっ

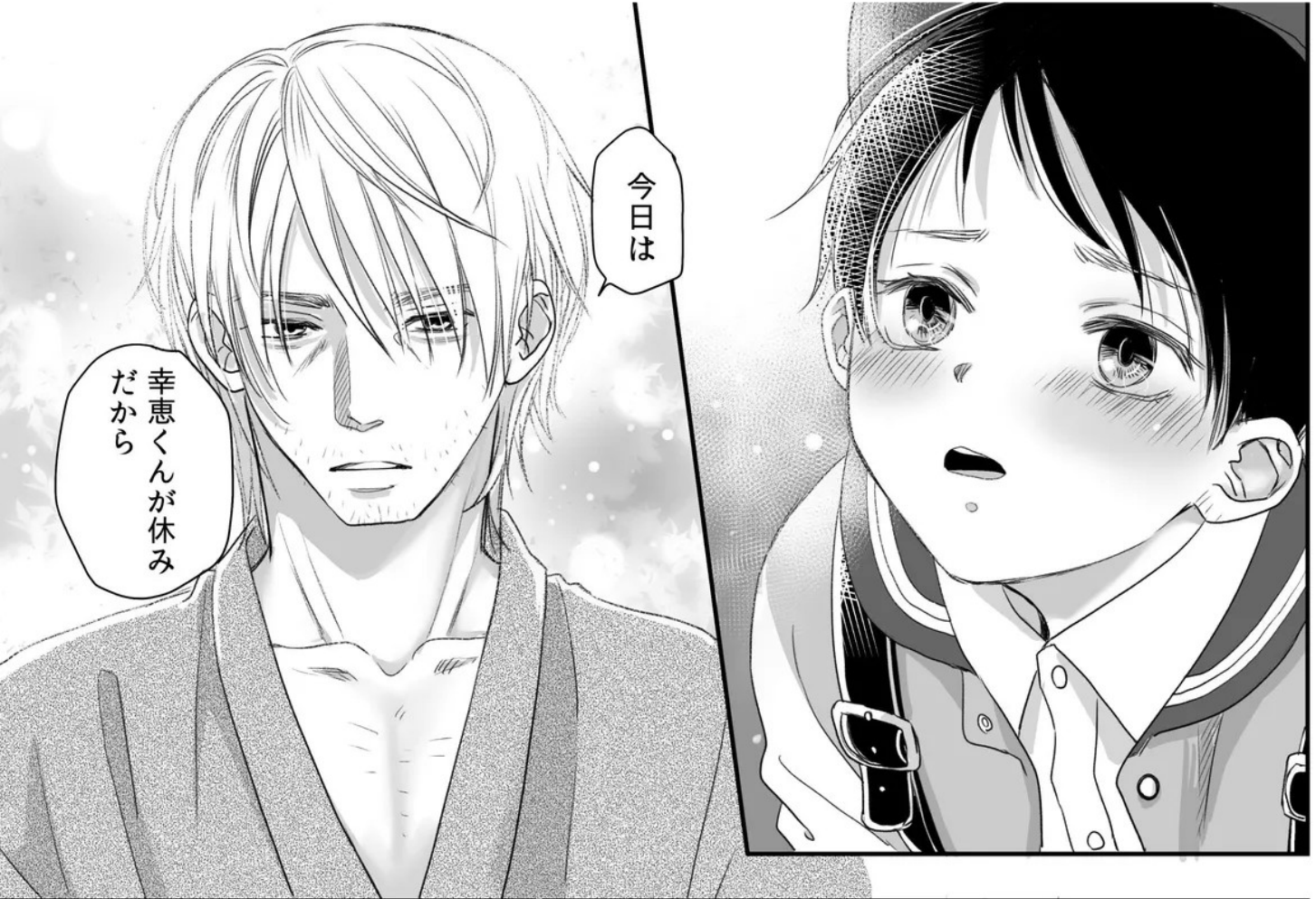
しゅっ

しゅっ

しゅっ...

しゅっ





今日は

幸恵くんが休み  
だから



一緒に朝飯を  
作るぞ

えっと…



その…

爺さんの仏壇も  
用意するから

…ずっと一緒に  
いてくれ…

おわり。

# キラキラヒカル

昭和養子縁組話

発行サークル YANCHACLUB

発行者 百斎

2024.10.29 DL版

mail [dousaimo@gmail.com](mailto:dousaimo@gmail.com)

Pixiv 3009369

X @dousaimo

## 日本のブリーフについて

日本国内においては、1950年代中頃（昭和30年代）より登場し、流行に敏感な青年層を中心に爆発的に浸透した。その身体に沿った斬新なデザインとこれまでの下着にはなかった穿き心地や機能性から、若年層を中心に、それまでの既存の男性下着（トランクス、猿股、禪）を駆逐した。その後、カラーブリーフ、ビキニブリーフ等の派生商品も登場し、1970年代には全盛期を迎えた。グンゼのYGブランドは同社のプレスリリースによると1967年に誕生している[5]。この時代グンゼの子供パンツはまだないが11でも欲しかったので描きました











